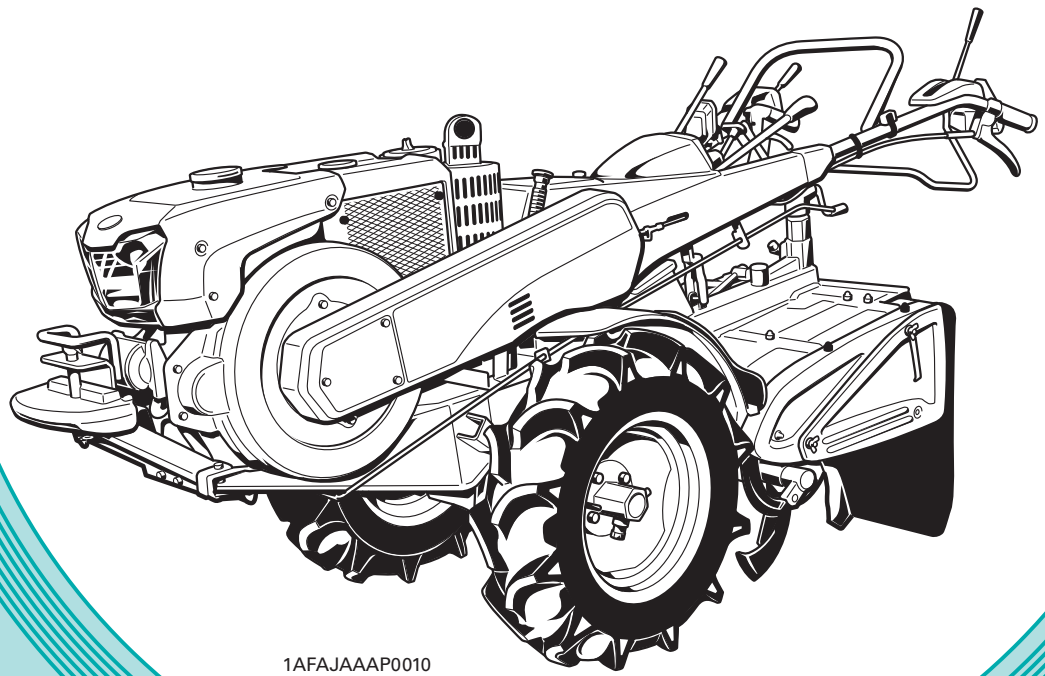
クボタ耕うん機

取扱説明書

KRA 750 850



1AFAJAAAP0010

Operator's Manual

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	速度が速くなる
	速度が遅くなる

	ディーゼル軽油

専門用語の説明

マジックジャッキ	**車輪交換，輪距調節時の機体保持装置**
フルカット	**残耕処理機構**

マッドレス	**ロータリカバー内面の土の付着を少なくするための機構**
PTO	**動力取出し軸**

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。なお，説明は［KRA850］を基本とし，［KRA850］と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，型式及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

〔本機〕

- 6-12　タイヤ付 ..... T 仕様
- フェンダ付 ..... G 仕様
- ロータリなし ..... P 仕様

〔ロータリについて〕

- R10　KRA750 用。センタードライブ，ストレート。
- R20　KRA750 用。センタードライブ，フルカット。
- R30　KRA750 用。センタードライブ，フルカット，マッドレス付。
- R40　KRA850 用。センタードライブ，ストレート，マッドレス付。
- R50　KRA850 用。センタードライブ，フルカット，マッドレス付。
- R60　KRA850 用。サイドドライブ。

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に **1**
始動するとき **2**
移動，作業するとき **3**
作業が終わったとき **6**
点検・給油・整備時に **7**
表示ラベルと貼付け位置 **9**
表示ラベルの手入れ **10**

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

作業前の点検

調子よく作業するために **6**
安全に作業するために **9**

運転のしかた

新車時の扱いかた **10**
　ならし運転（最初の 10 時間まで） 10
エンジンの始動と停止のしかた **10**
　エンジンの始動のしかた 10
　エンジンの停止のしかた 12
発進のしかた **13**

作業のしかた

上手な作業のしかた **14**
　作業前の準備 14
　耕うん作業手順 14
　耕うん作業での旋回手順 14
　ロータリレバー 14
各部の調節 **15**
　ハンドル高さの調節 15
　車輪幅（輪距）の調節・車輪交換のしかた 15
　後輪の調節（耕深調節・移動） 16
　サイドカバーの調節 16
　培土機の取付けかた 17
　ロータリの着脱のしかた 17

簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について **19**
日常の手入れ **19**
　エンジンオイルの交換 19
　ミッションオイルの交換 20
　ロータリケースオイルの交換 20
　オイルの点検と交換表 21
　副チェーンケースのグリース補充 22
　耕うん軸へのグリース塗布 22
　エアクリーナエレメントの清掃 22
　燃料チューブの交換 22
　燃料フィルタの清掃 23
　ファンベルトの張り調整 23
　ラジエータの手入れ 24
　タイヤ空気圧 25
　主クラッチケーブルの調節 26
　駐車ブレーキの調節 26
　操向クラッチケーブルの調節 27
　V ベルトの張り調節 27
　後進牽制装置の調節 27
　ロータリケーブルの調節 28
耕うん爪の取付けかた **28**
　センタドライブ・ストレートセンタ仕様 .. 29
　センタドライブフルカット仕様 29
　サイドドライブ仕様 30
使用後の手入れ **31**
　長期格納時の手入れ 31
　長期格納時の注意 31
バッテリの点検 **31**
　補充電のしかた 31
　保守・点検 32
電気配線及びヒューズ **32**
　ヒューズの交換 32
　スローブローヒューズの交換 32
洗車時の注意 **33**

耕うん機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬 .. **34**

付表

主要諸元 **35**
オプション部品 **37**
標準付属部品 **37**
主な消耗部品一覧表 **38**

トラブルと処置

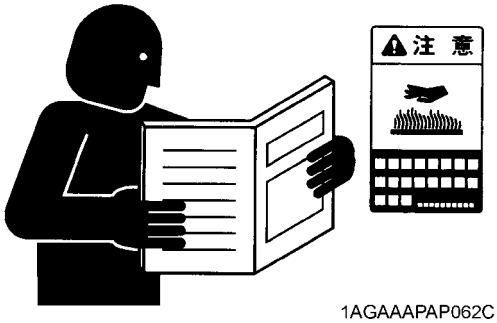
⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危 険・⚠警 告・⚠注 意・重 要・補 足としてそのつど取上げています。

運転する前に

■ 運転前に

- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ**［切］**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

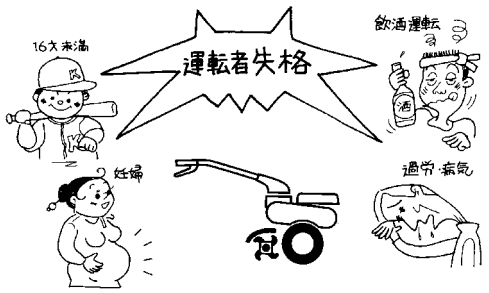


1AGAAAPAP062C

■ 使用する人は

次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

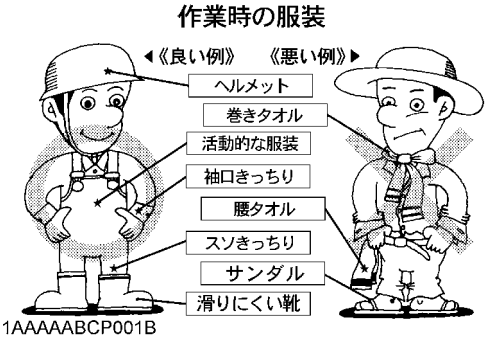
- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足などのため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方



1AFACAAAP024B

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



1AAAAABCP001B

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え，**［取扱説明書］**を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

1AKABAIAP048A

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

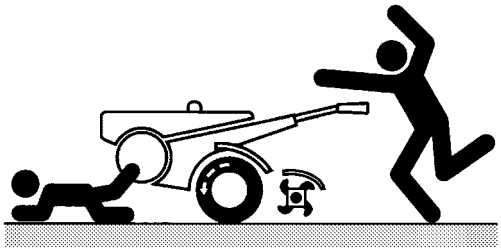
- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

1AFAJAAAP032A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

- 必ず本機，ロータリ（作業機）の主クラッチレバーを**［切］**り，変速レバーは**［中立］**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- スタータハンドルでエンジンを始動した場合，エンジンが始動し始めるとスタータハンドルは軸から自然に抜けますので，エンジンが始動しても絶対にハンドルから手を離さないでください。手を離すとハンドルが軸といっしょに回りたいへん危険です。


1AFACAAAP026B

1AFAJAAAP033A

■ 排気ガスに注意

- 換気が不じゅうぶんな所では，暖機運転や作業はしないでください。
  排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

1AKABAIAP055A

移動，作業するとき

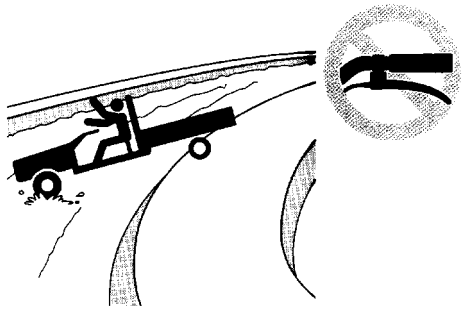
■ 発進するとき

- 速い速度での走行はじゅうぶん注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの**［入］**はゆっくり，**［切］**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。

■ トレーラ走行するとき

トレーラを取り付けたこの耕うん機は道路運送車両法の小型特殊自動車の保安基準に適合しません。そのため，公道を走行すると道路運送車両法に違反します。
公道以外を移動するときは

- トレーラには運転者のほかには乗車させないでください
- 見通しの悪いところでは一旦停止して，降りて左右を確認してください。
- トレーラ走行時，操向クラッチを使って旋回すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，操向クラッチは握らないでください。
  必ずハンドル操作で旋回してください。


1AFAJAAAP082A

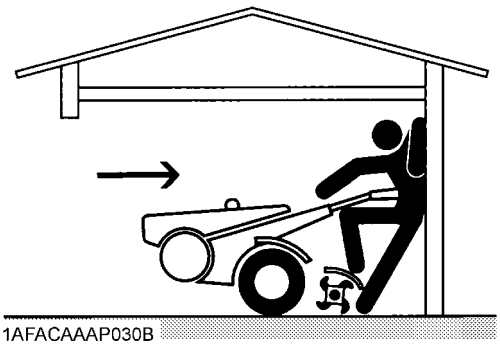
■ 移動するとき

- 移動の際は，必ずロータリの回転を止めてください。

1AFACAAAP034C

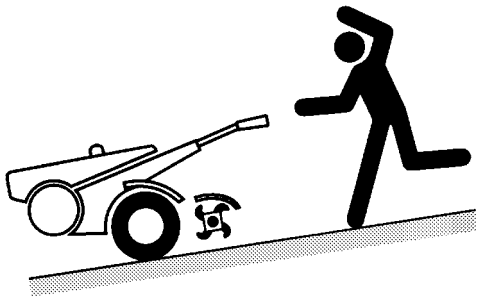
■ ハウス，車庫等での移動

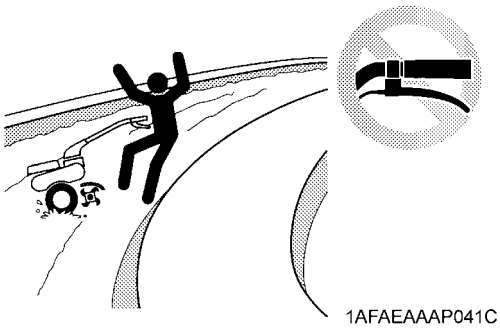
- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。


1AFACAAAP030B

■ 坂道を移動するとき

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを**［切］**ったり，主変速を**［中立］**にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。
- 坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。

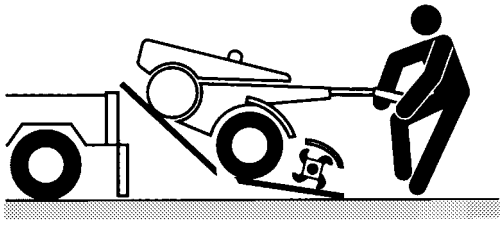

1AFACAAAP031B


1AFAEAAAP041C

■ 運搬・積込み・積降ろしするとき

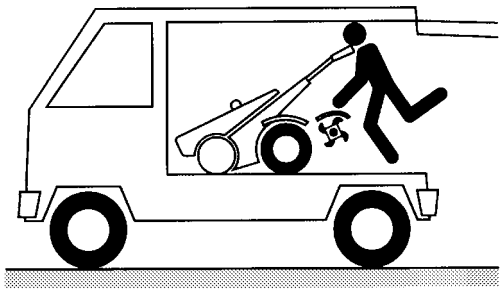
（1）積込み・積降ろしするとき

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ**［1］**に対しアユミ板の長さ**［4以上］**のものを使用し，確実に固定してください。
- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは**［前進］**下りは**［後進］**で行ない，途中で主クラッチ・操向クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。


1AFACAAAP032B

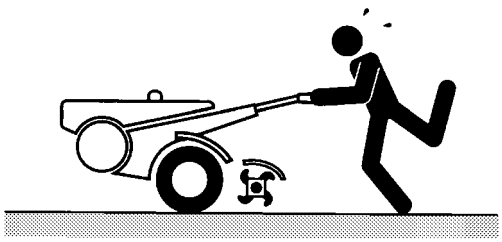
（2）運搬するとき

- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックを必ず**［C］（閉）**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定はフロントヒッチ・ハンドル・リヤヒッチ・後輪部のいずれか 2 箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。


1AFACAAAP033B

■ 耕うん作業するとき

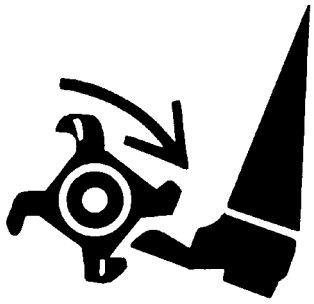
- いつでも主クラッチが**［切］**れる姿勢で運転してください。爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後進，旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。



1AFACAAAP028B

■ 回転している爪に注意

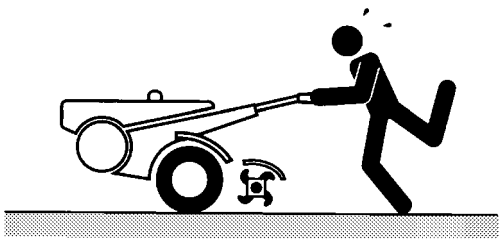
- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。



1AFACAAAP034C

■ ほ場が硬いとき

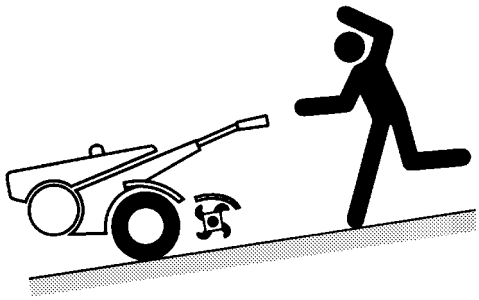
- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028B

■ 機械から離れるとき

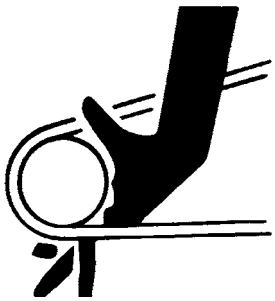
- エンジンは必ず停止させ，駐車ブレーキをかけて平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  (やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。



1AFACAAAP031B

■ PTO 軸を使用するとき

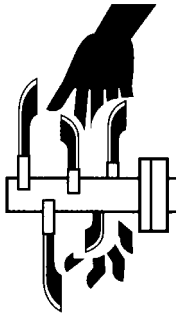
＊ 回転物に巻込まれるおそれがあるので，まわりにカバーや囲いをしてください。
＊ 使用しないときはカバーを組付けてください。



作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

- 車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）等に巻付いた草・ワラ・泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。



1AFACAAAP036B

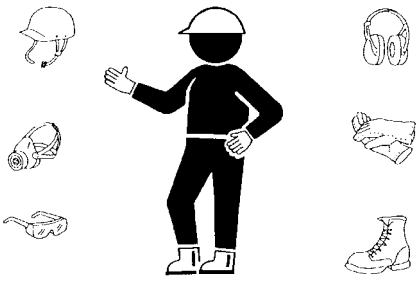
■ マジックジャッキを使用するとき

- エンジンを停止させ，マジックジャッキを確実に支持し，硬くて平らな所で使用してください。ロータリ部の土は取除いてから使用してください。

点検・給油・整備時に

■ 点検・整備時の服装と保護具

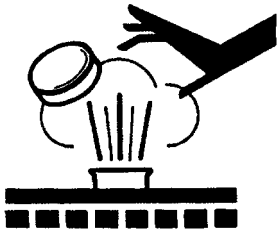
- 点検整備にはヘルメット，安全靴と安全な服装を着用してください。
  作業内容によっては保護めがね，防塵マスク，防音具，保護手袋などの保護具を着用してください。
  各保護具は使用前に機能を確認してください。



1AGADAPAP122B

■ 点検・整備前の準備

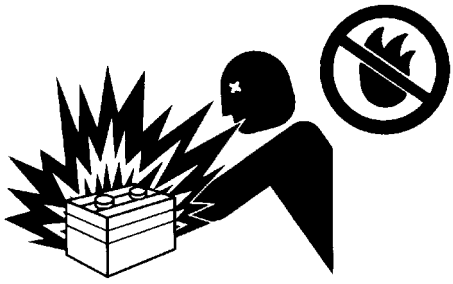
- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所にスタンドを立て，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。
- エンジン・マフラ・ラジエータなどがじゅうぶん冷えてから点検整備してください。ヤケドのおそれがあります。



1AGALAFAP055A

■ バッテリを点検するとき

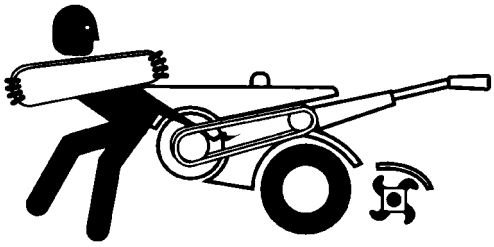
- バッテリは充電中引火性ガスを発生し爆発の危険性がありますので，タバコをすったり火気を近づけないでください。



1AKACAIAP397B

■ カバー類は必ずつける

- ベルトカバー，PTO 軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037B

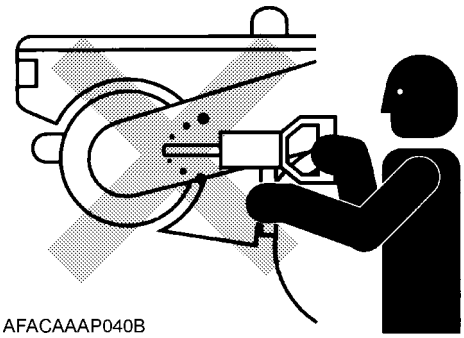
■ タイヤの整備

- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
  （特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

1AFACAAAP041B

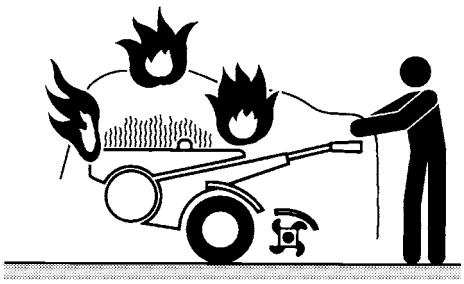
■ 機械の改造禁止

- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。


1AFACAAAP040B

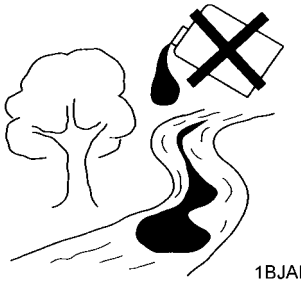
■ 格納するとき

- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 火災防止のため，草・ワラ等可燃物のあるところでの保管はしないでください。


1AFACAAAP076A

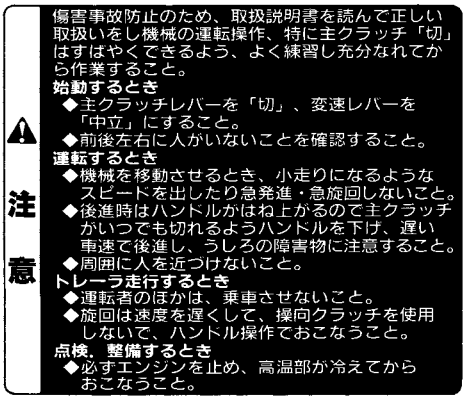
■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。


1BJABAAAP0180

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番 64071-4822-1



1AFAJAAAP0060

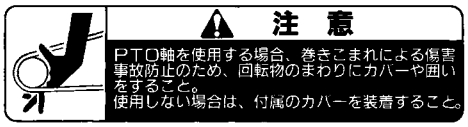
(2) 品番 KF311-4815-1

1AFAJAAAP0150

(6) 品番 64071-4881-1

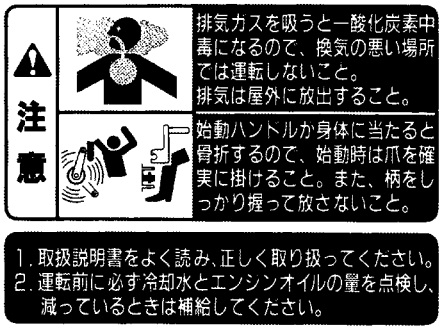
1AFAJAAAP0130

(3) 品番 64071-4819-1



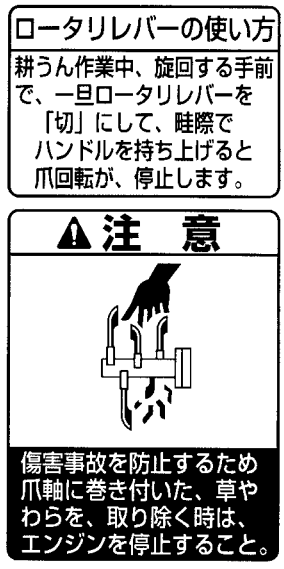
1AFAJAAAP0100

(4) 品番 1J133-8721-1



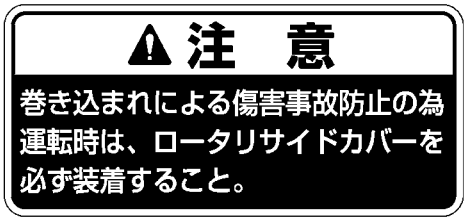
1AFAJAAAP0070

(7) 品番 KF311-4854-1

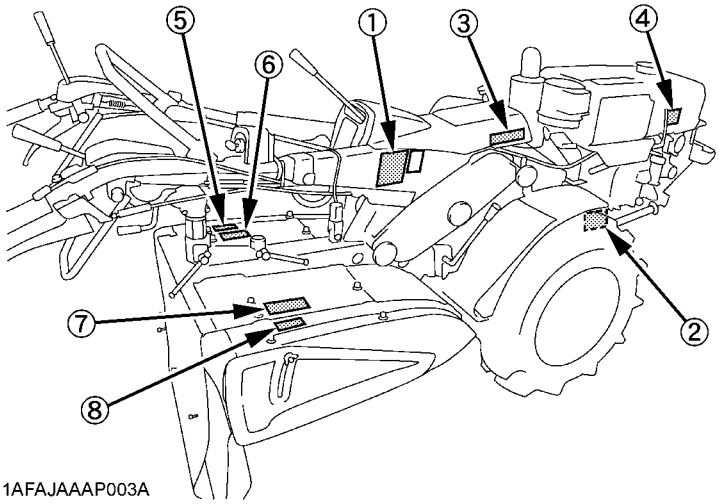


1AFAJAAAP0160

(5), (8) 品番 KA791-4735-1

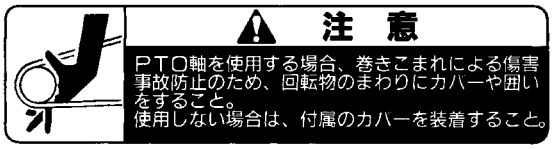


1AFACAAAP075A



1AFAJAAAP003A

(1)品番 64071-4819-1

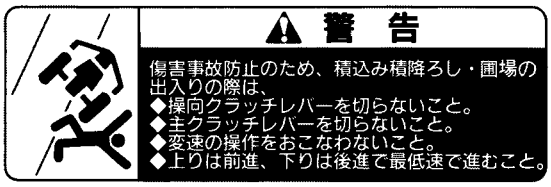


1AFAJAAAP0100

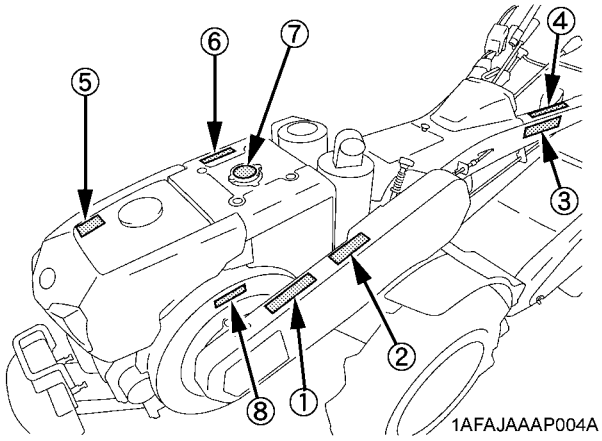
(2)品番 60932-4825-1

1AFACAAAP043A

(3)品番 64071-4841-1

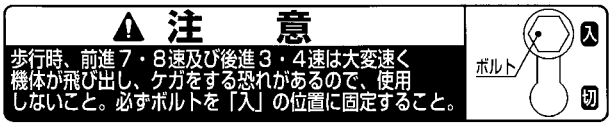


1AFAJAAAP0110



1AFAJAAAP004A

(4)品番 KF311-4728-1



1AFAJAAAP0170

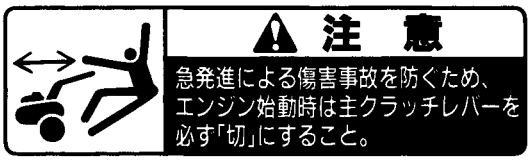
(5)品番 11151-8741-2

1AFAJAAAP0090

(7)品番 11131-8724-2

1AFAJAAAP0140

(6)品番 11196-8762-1



1AFAJAAAP0080

(8)品番 11151-8722-1

1AFAKAAAP0370

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

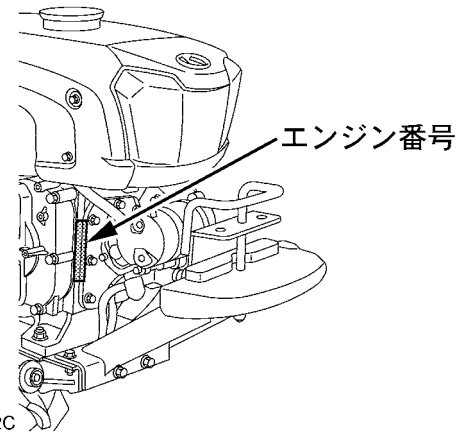
この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

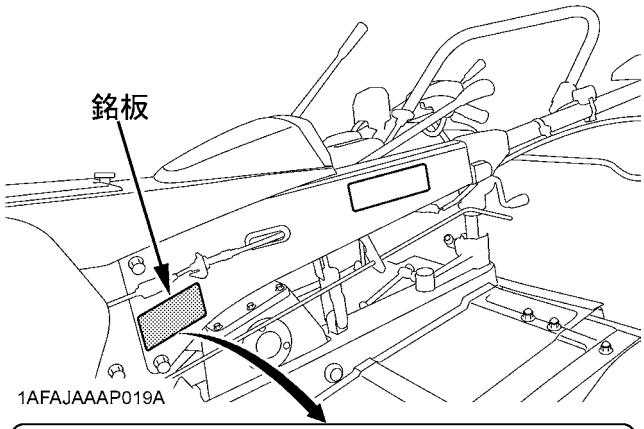
ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際　(1) 型式名・販売型式名と車台番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。

なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。



1AFAJAAAP042C



1AFAJAAAP019A

1AFAEAAAP056A

警　告

＊ 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか，人身事故にもつながるおそれがあります。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

農機型式名	販売型式名	安全鑑定番号
KRA750	KRA750	37093
KRA850	KRA850	37094

■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。

ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

注　意

＊ 公道でのトレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

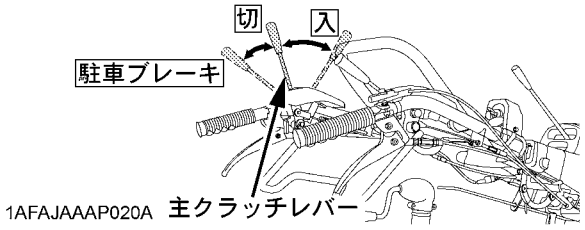
各部の名称と装置の取扱い

主クラッチレバー

注 意

＊傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作してください。
＊狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバーを操作してください。

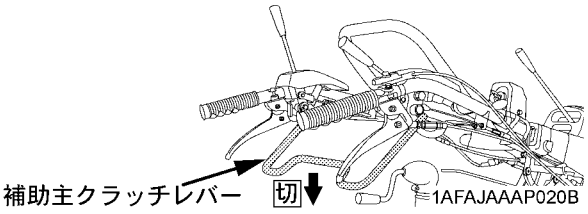
エンジンから動力を断続します。
1. 主クラッチレバーを **[入]** 位置にするとクラッチが入ります。
2. 主クラッチレバーを **[切]** 位置にするとクラッチが切れます。
3. 主クラッチレバーを **[駐車ブレーキ]** 位置にすると駐車ブレーキがかかります。



1AFAJAAAP020A

補助主クラッチレバー

非常時にレバーを下方に押下げると，主クラッチが切れ，走行・PTO共に止まります。



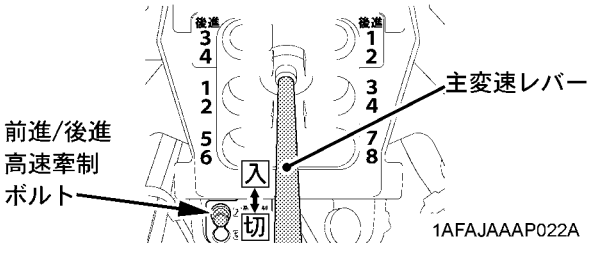
1AFAJAAAP020B

主変速レバー

注 意

＊エンジンを始動する前に，必ずレバーを [中立] にしてください。
＊変速操作は主クラッチを [切] ってから行なってください。
＊走行中は変速しないでください。
＊前進: 7・8 速，後進: 3・4 速はたいへん速いので危険です。トレーラ走行以外では使用しないでください。

変速は，主・副変速レバーの組合せで，**前進：8 段，後進：4 段**です。トレーラ作業で**前進： 7・8 速，後進： 3・4 速**を使用するときは，前進/後進高速牽制ボルトをゆるめ，**[切]** 位置に切換えてください。
トレーラを取外した後は，必ず **[入]** 位置に戻してください。



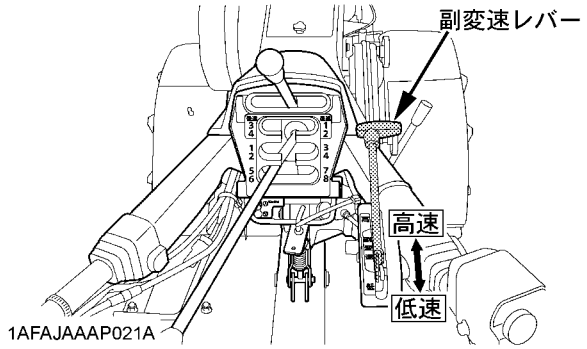
1AFAJAAAP022A

副変速レバー

警 告

＊変速操作は主クラッチを [切] ってから行なってください。
＊走行中にレバーの切換え操作は絶対にしないでください。

［低速］と**［高速］**の２段に変速できます。



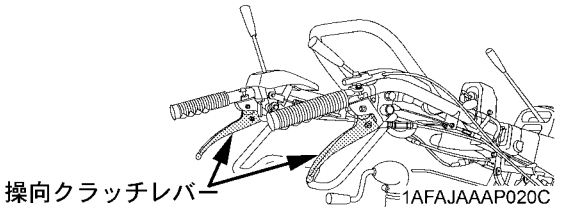
1AFAJAAAP021A

操向クラッチレバー

警 告

＊トレーラ作業時や坂道では絶対に操作しないでください。

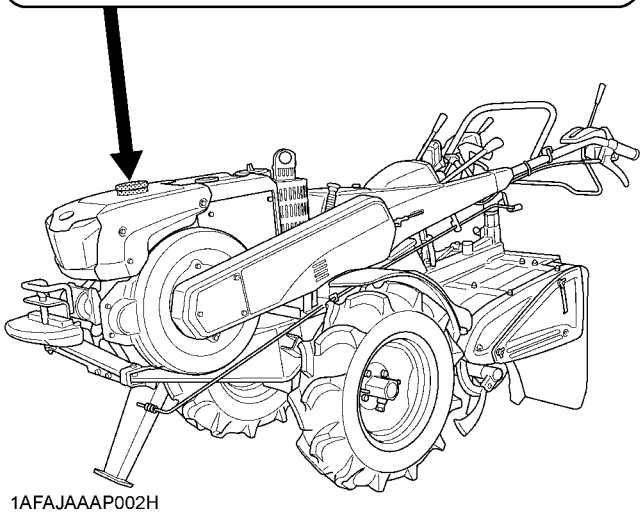
●右側のレバーを握る・・・右側に旋回します。
●左側のレバーを握る・・・左側に旋回します。



1AFAJAAAP020C

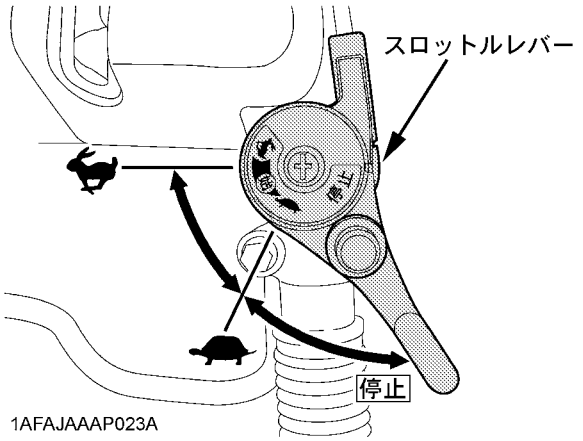
燃料キャップ

ディーゼル軽油を使用します。
［規定容量］KRA750 (8L) ・KRA850 (10L)


1AFAJAAAP002H

スロットルレバー

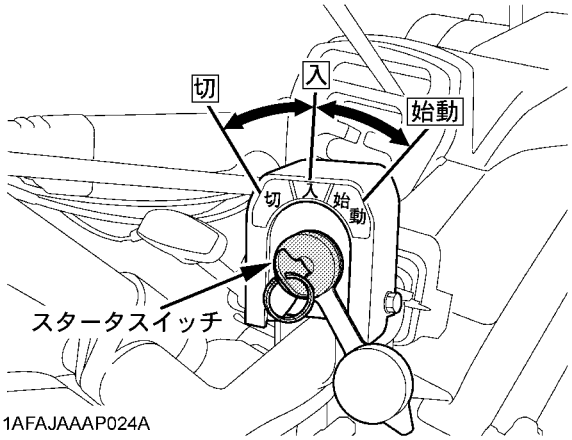
エンジン回転の調整及び，エンジンの停止に使用します。
1．🐇の方向に回すとエンジン回転が上がります。
2．🐢の方向に回すとエンジン回転が下がります。
3．**［停止］**位置に入れるとエンジンを停止できます。



1AFAJAAAP023A

スタータスイッチ

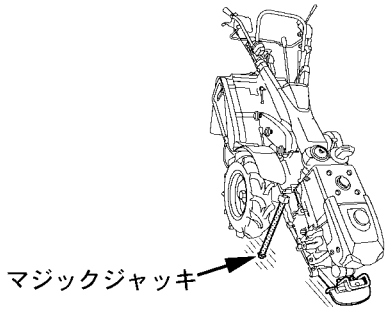
エンジンの**［始動］**と停止後の電源**［切］**に使用します。



1AFAJAAAP024A

マジックジャッキ

浮かせたい車輪側にマジックジャッキをセットする事で車輪の交換や輪距の調節ができます。
詳しくは（**［作業のしかた］**15ページを参照）



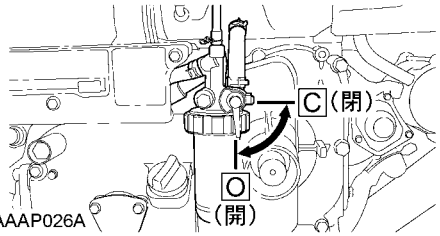
1AFAJAAAP025A

燃料コック

重 要

＊コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

燃料タンクからエンジンへの燃料の**［供給］・［停止］**をします。
エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。
1．**［C］**（閉）…燃料停止。
2．**［O］**（開）…燃料供給。



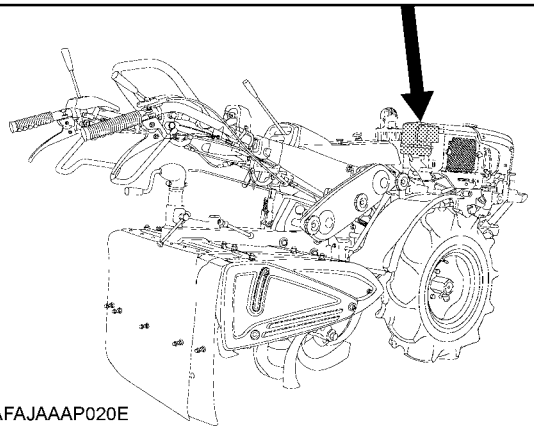
1AFAJAAAP026A

エアクリーナ

エンジンに正常な空気を供給するための装置です。

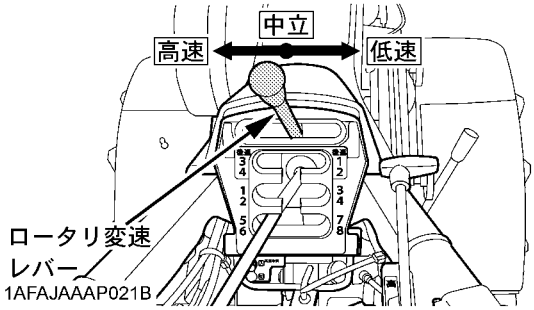
重 要

＊エアクリーナカバーの空気導入口は必ずマフラと反対側に向けてください。


1AFAJAAAP020E

ロータリ変速レバー

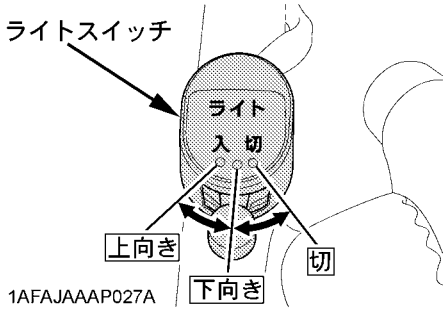
●ロータリ爪軸及びPTO軸の回転速度を**［低速］・［高速］**の２段変速する事ができます。
●ロータリ爪軸の回転は副チェーンケースとの組合せで４段変速となります。詳しくは（**［各部の名称と装置の取扱いの副チェーンケース］**5ページを参照）



1AFAJAAAP021B

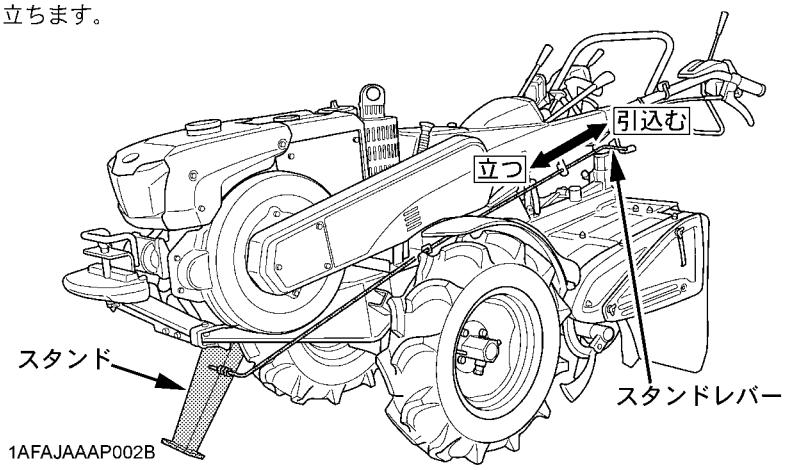
ライトスイッチ

1. スタータスイッチが**[入]**位置にあるとき，ライトスイッチ**[入]**で点灯します。



スタンドレバー

スタンドレバーを手前に引くとスタンドが引込み，前方に押すとスタンドが立ちます。



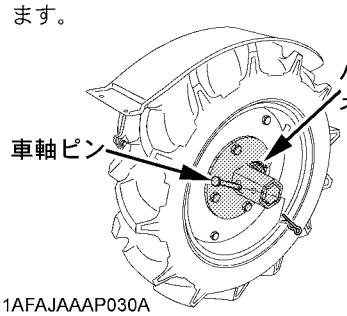
六角ホイルチューブ

注 意

＊輪距調節後はハブ止めネジを確実に締付けてください。

作業に応じて輪距の調節が出来ます。
詳しくは（**[車輪幅（輪距）の調節・車輪交換のしかた]** 15ページを参照）

●ハブ止めネジをゆるめ，車軸ピンを抜いて輪距の調節や交換を行なうことができます。



マフラ

注 意

＊マフラに手でふれないでください。
ヤケドをするおそれがあります。

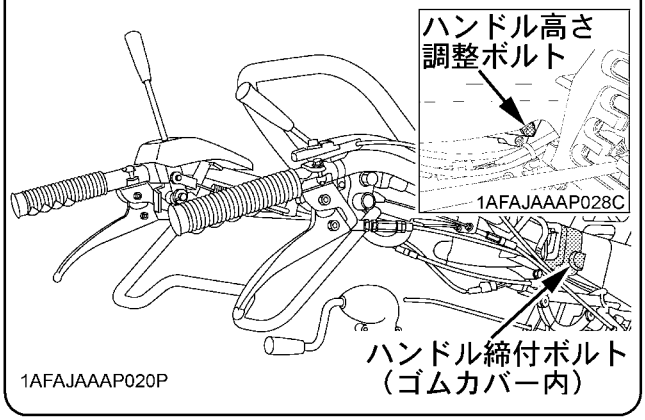
ハンドル締付ボルト／ハンドル高さ調節ボルト

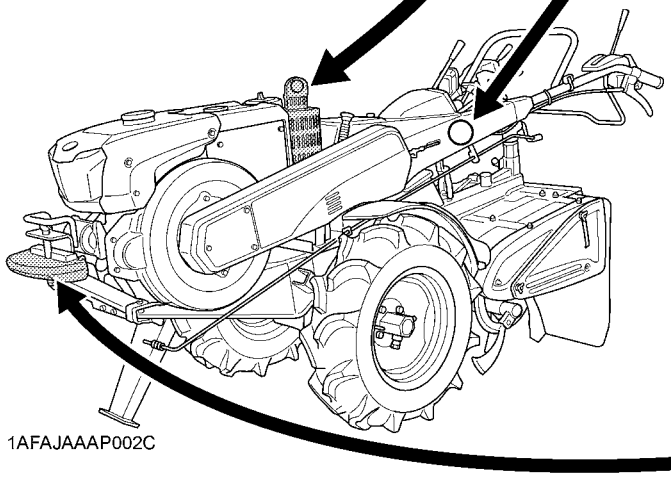
注 意

＊平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。
傷害事故のおそれがあります。

ハンドル上下調節用のボルトです。ボルト位置を変えることにより，２段階にハンドル高さを調節できます。

1. ハンドル締付ボルト（左右共）を緩めてください。
2. ハンドル高さ調節ボルト（左右共）を外してください。
3. 希望する高さにボルトを取付け，調整後は左右のボルトを確実に取付けてください。



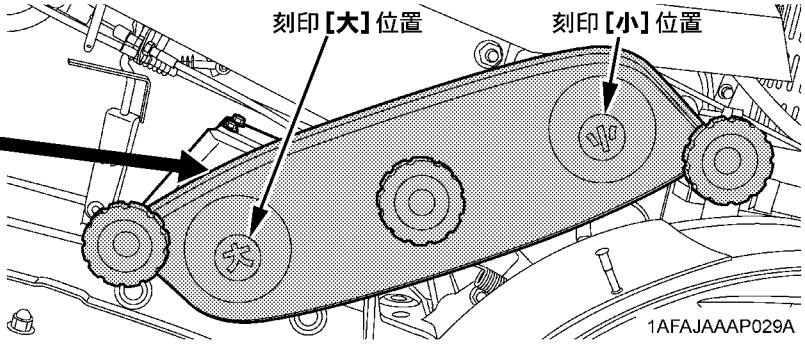


ウエイト

ウエイトは本機とロータリのバランスをとるのに使用します。
※標準装備仕様とウエイトなし仕様の仕様があります。

副チェーンケース

副チェーンケースのカバーを前後に入換えることにより，耕うん爪軸回転数を２段階に変更できます。
刻印の文字が読めるように取付けてください。
［刻印］
小…爪軸回転数が速くなります。
大…爪軸回転数が遅くなります。



ロータリ着脱レバー

ロータリの着脱に使用します。
詳しくは（**［作業のしかた］**17ページを参照）

後輪上下ハンドル

耕深を微調節する時は後輪上下ハンドルを回して後輪の高さを調節します。
●右に回す…耕深が速くなります。
●左に回す…耕深が遅くなります。

ジャッキボルト（後輪外管）

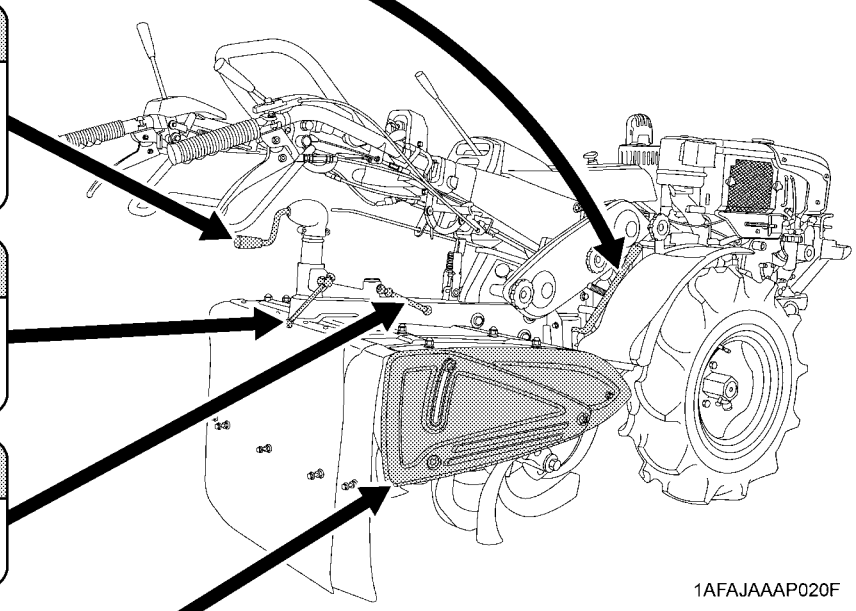
耕深を大きく調整する時はジャッキボルトをゆるめ後輪外管を上下させて後輪の高さを調整します。

ジャッキボルト（培土機取付け）

培土機を取付ける際は，ジャッキボルトで取付け・取外しをしてください。

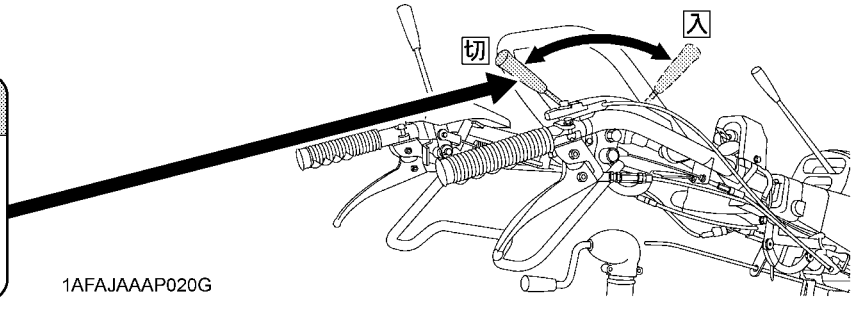
サイドカバー

使用するアタッチメントや作業により，サイドカバーを蝶ボルトで上下に調整してください。詳しくは（**［サイドカバーの調整］**16ページを参照）



ロータリレバー

・ロータリ変速レバーが**［高速］**又は**［低速］**位置でロータリレバー**［入］**・**［切］**によりロータリ爪軸の回転・停止が行えます。
・主変速レバーが**［後進］**位置のときは，ロータリレバー**［入］**位置にできません。



作業前の点検

警 告

＊ 平たんな場所にスタンドを立て，機械を安定させて点検してください。
＊ 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

（詳細は 19 ページの**［簡単な手入れと処置］**を参照）

警 告

＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ スタンドを立て機械を安定させて点検してください。
＊ 給油後，燃料キャップは燃料がもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

◆ 燃料

- エンジンを水平状態にして燃料を入れてください。
- 燃料には，**［ディーゼル軽油］**を使用してください。ディーゼル軽油には下表の種類があります。地域・季節に見合ったものを使用してください。

種類	ディーゼル経由の流動点（℃）
特１号	＋５以下
１号	-2.5 以下
２号	-7.5 以下
３号	-20 以下
特３号	-30 以下

- 流動点付近以下の温度になると燃料の流動性が悪くなり，始動が困難になります。
- タンク容量……**[KRA750]** 約８ Ｌ
  [KRA850] 約 10Ｌ

重 要

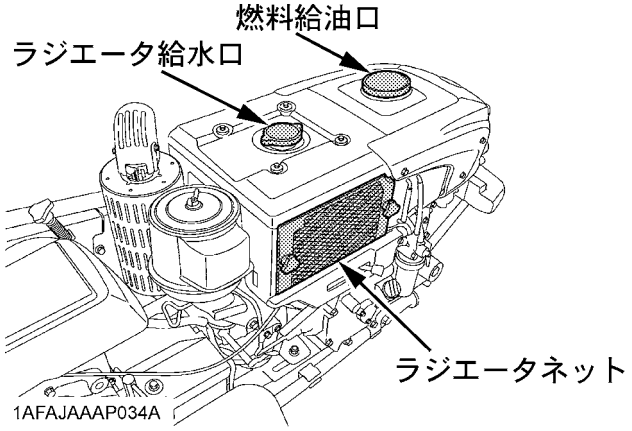
＊ 燃料中にごみや砂が混入していると，燃料噴射ポンプが作動不良になりますので，給油時はこし網を外さないでください。
＊ 燃料キャップが締まっているか確認してください。

◆ 冷却水

警 告

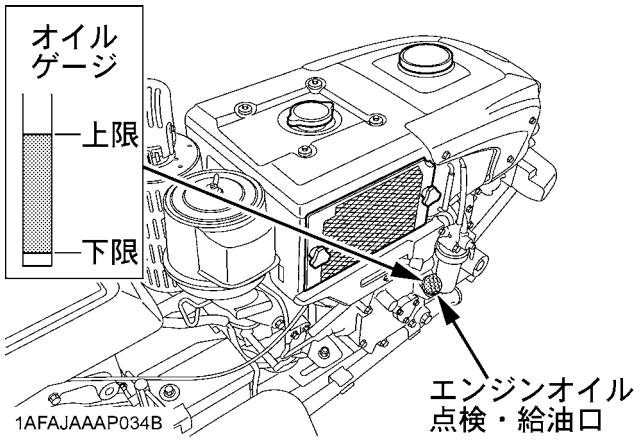
＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

- エンジンを水平状態にして冷却水がラジエータ給水口まであるか点検してください。
- 冷却水が不足している場合は，井戸水か水道水などの，きれいな水（軟水）を補充します。
- ラジエータネットにゴミやホコリがたまっていないか点検してください。



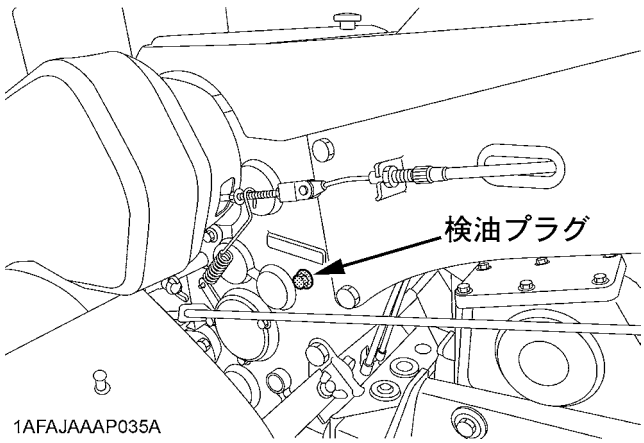
◆ エンジンオイル

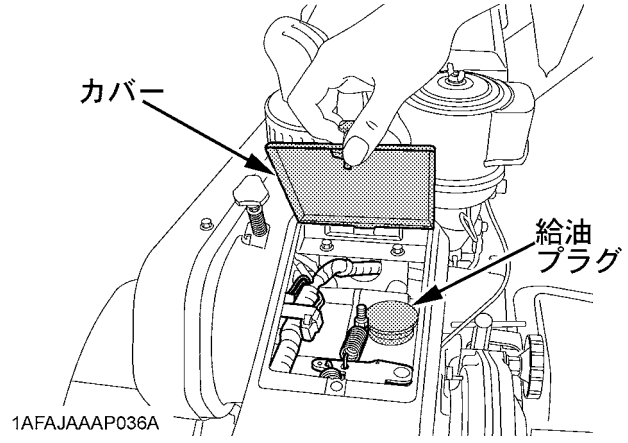
- エンジンを水平状態にして，オイルゲージで規定量あるか点検します。
- 不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
  （ディーゼルエンジン用）D10W-30 又は CD 級以上



◆ ミッションオイル

- スタンドを立てた状態で，検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイル M80B,M90 又はスーパーUDT-2 を補充してください。



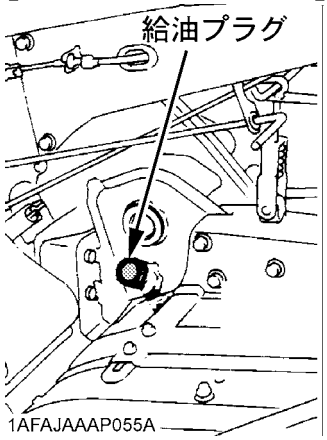


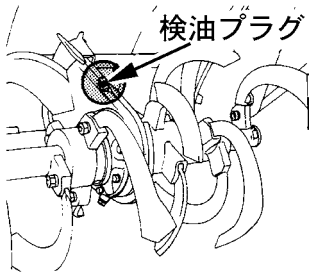
◆ ロータリケースオイル

- スタンドを立てた状態で，検油プラグ位置まであるか点検してください。
- 不足している場合は，クボタ純オイル M80B 又は M90 を補充してください。

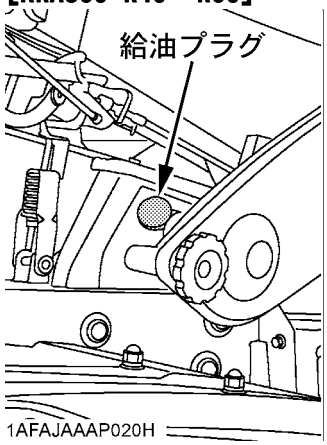
● センタドライブ仕様

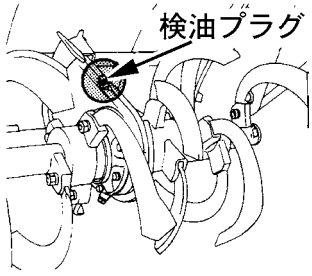
[KRA750-R10・R20・R30]





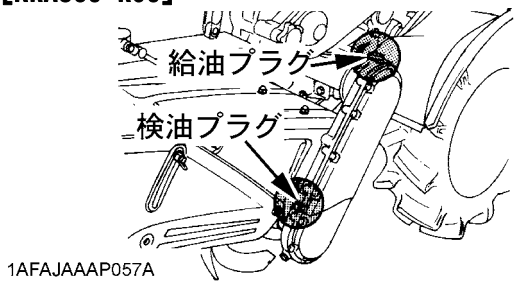
[KRA850-R40・R50]

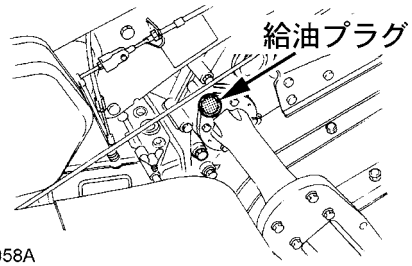




● サイドドライブ仕様

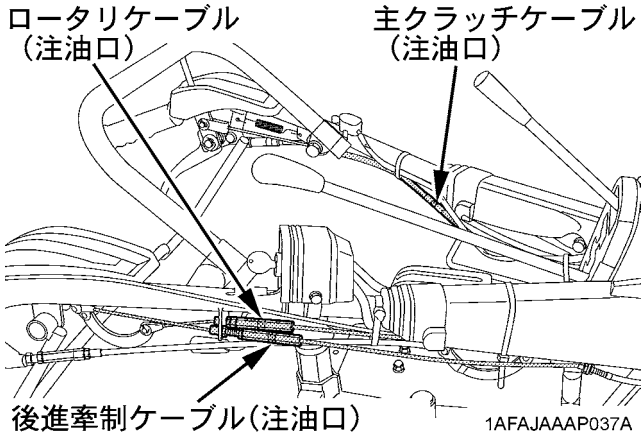
[KRA850-R60]





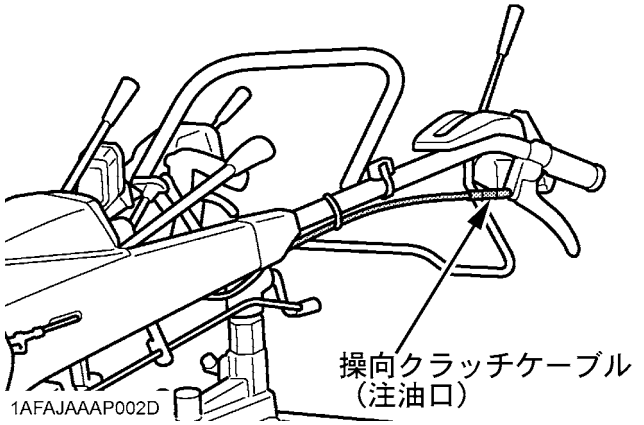
◆ 主クラッチケーブル・ロータリケーブル・後進牽制ケーブル

- ケーブルの注油キャップを回し注油口よりエンジンオイルを注油します。



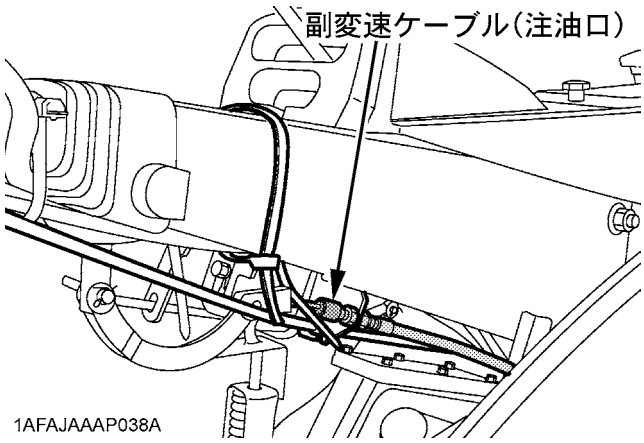
◆ 操向クラッチケーブル（左・右）

- ケーブルの注油キャップを回し注油口よりエンジンオイルを注油します。



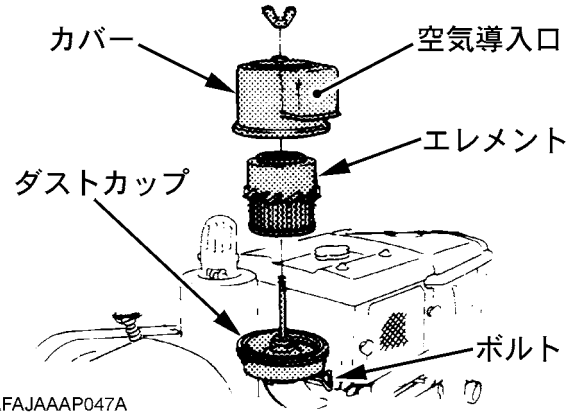
◆ 副変速ケーブル

- ケーブルキャップを外し注油口よりエンジンオイルを注油します。



◆ エアクリーナ

- ダストカップにゴミがたまっていないか点検してください。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検してください。

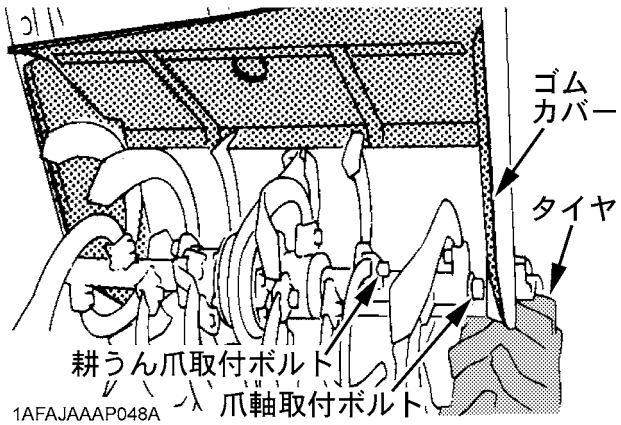


◆ タイヤ

- 空気が抜けていないか，また損傷がないか点検してください。

◆ ロータリ

- 耕うん爪取付けボルト及び爪軸取付けボルトのゆるみがないか点検してください。
- ゴムカバーに大きな破れや傷がないか点検してください。**［マッドレス仕様のみ］**



◆ その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。

重　要

- 燃料・オイルには水やゴミを混入しないようにしてください。

安全に作業するために

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

◆ 主クラッチレバー
- クラッチの**［入］・［切］**が確実に行なえるか点検してください。
- 駐車ブレーキ**［入］**で確実に停止するか点検してください。

◆ 補助主クラッチレバー
- 補助主クラッチレバーを使用して主クラッチの**［切］**が確実に行なえるか点検してください。

◆ 副変速レバー
- 副変速の**［高］・［低］**の切替えが確実に行なえるか点検してください。

◆ 操向クラッチレバー
- 操向クラッチ左右の**［入］・［切］**が確実に行なえるか点検してください。

◆ ロータリレバー
- ロータリ爪軸回転の**［入］・［切］**が確実に行なえるか点検してください。

◆ 主変速レバー
- 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検してください。

◆ ロータリ変速レバー
- ロータリ変速の**［高］・［低］**の切替えが確実に行なえるか点検してください。

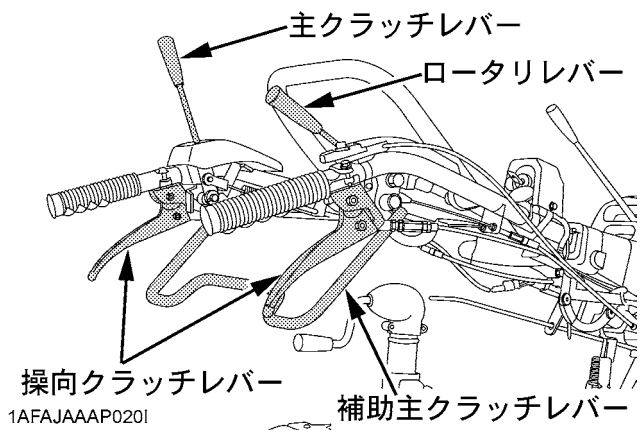
◆ 電気配線
- 被覆が溶けたり被れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

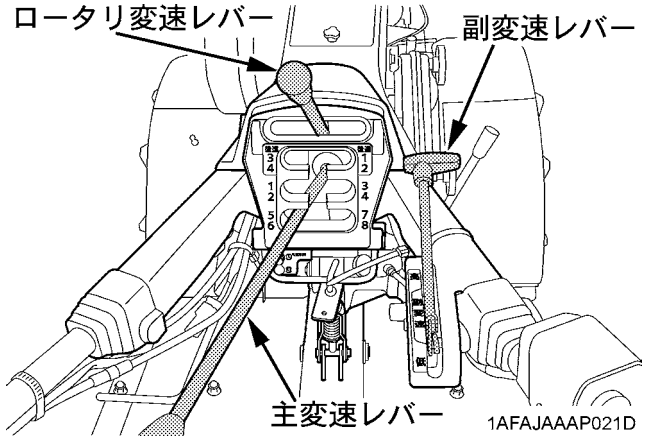
◆ エンジン周辺部
- ラジエータネットやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検してください。

◆ 燃料
（ディーゼル軽油もれ）
- タンクや燃料パイプから燃料もれがないか点検してください。
もれがある場合は，修理点検してください。
- ディーゼル軽油を補給してください。
- 給油後，燃料がもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

◆ タイヤ空気圧
- 空気が抜けていないか，また，損傷がないか点検してください。
- 適正空気圧…… 120kPa(1.2kgf/cm²)

◆ バッテリ
- ターミナル端子がゆるんでいないか点検してください。
（詳細は 31 ページの**［バッテリの点検］**を参照）





運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

エンジンの始動と停止のしかた

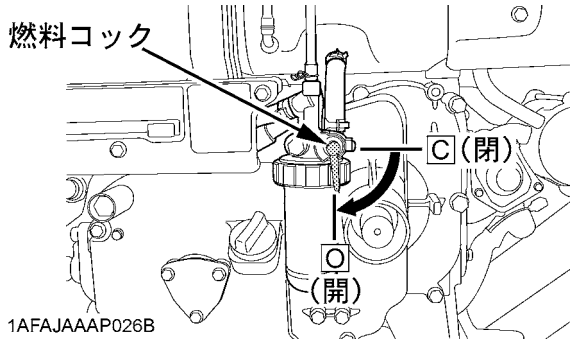
注 意

- **エンジンを始動するときは、主クラッチレバーとロータリレバーを必ず［切］にしてください。**
- **主変速レバーとロータリ変速レバーを［中立］にしてください。**
- **マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因なります。**
- **エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。またラジエータキャップはぜったいに開けないでください。**

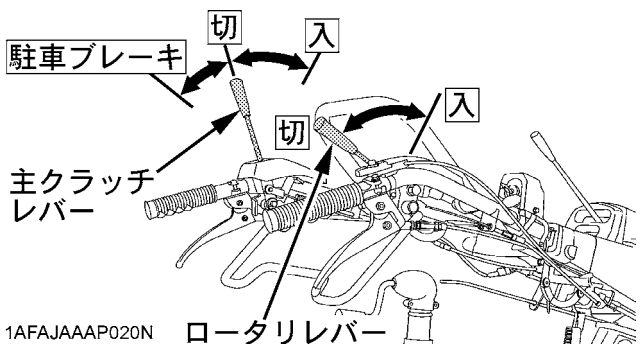
■エンジンの始動のしかた

◆ セルスタータ始動のとき

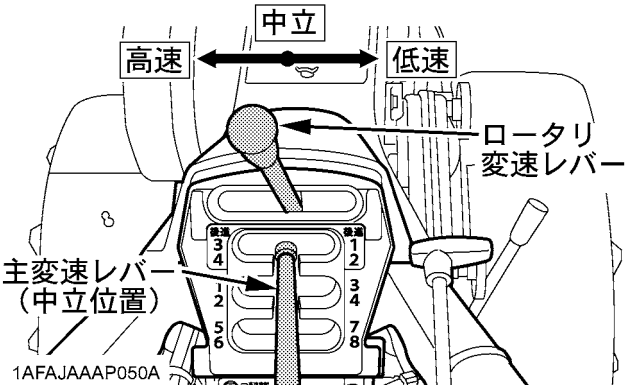
1. 燃料コックを **[O]**（開）位置にします。



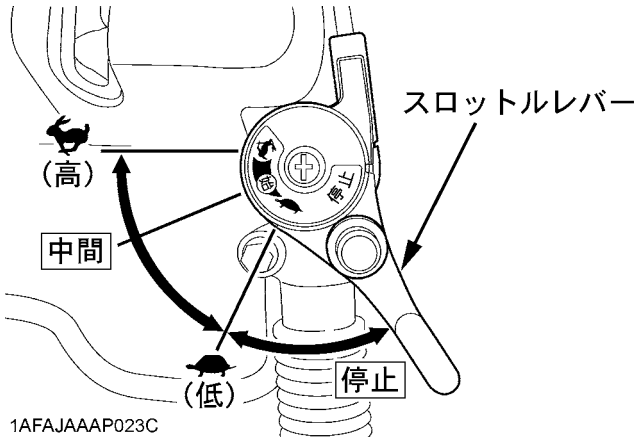
2. 主クラッチレバーとロータリレバーを **［切］** 位置にします。



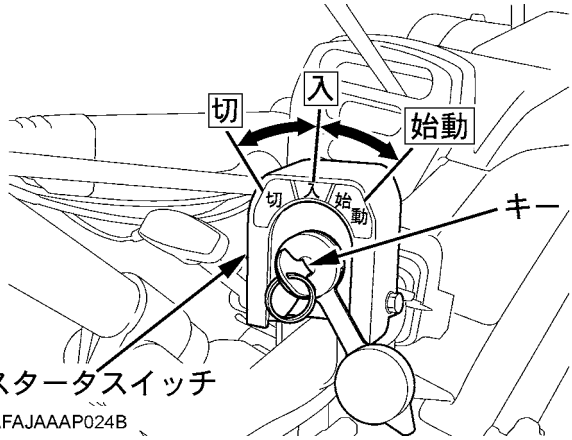
3. 主変速レバーとロータリ変速レバーを **［中立］** 位置にします。



4. スロットルレバーを **［低］** と **［高］** の中間の **（始）** 位置にします。



5. スタータスイッチにキーを差込み **【入】** 位置に回します。このときブザーが鳴ります。
6. キーを **【始動】** 位置まで回し、エンジンを始動します。
7. エンジンが始動したところで、キーから手を離してください。
   キーは自動的に **【入】** 位置に戻り、ブザーも止まります。



重　要

＊ エンジン始動後，キーは必ず**【入】**の位置にしておいてください。
＊ ２～３分，暖気運転を行なってから作業を始めてください。
＊ エンジンが始動してもブザーが止まらない場合は，エンジンを停止し，エンジンオイルの量及び　オイルフィルタの目詰まりを調べてください。(オイルポンプの動きが不良です)
＊ 10秒間セルモータを回しても始動しない場合は，30秒休んでから再始動してください。
＊ バッテリの放電によりエンジンが始動しにくい場合は，補充電して再始動してください。デコンプレバーを併用すると，始動しやすくなることがあります。

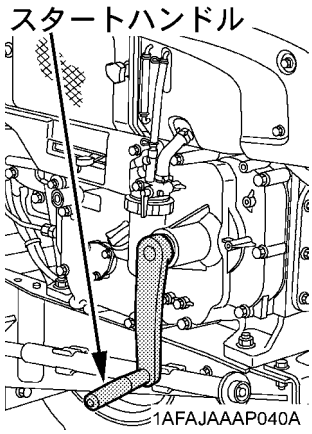
◆ 手始動のとき

注　意

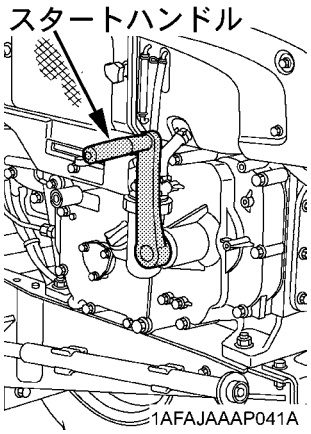
＊ スタートハンドルを上側［B図］の圧縮位置でハンドルを回すと，手首を痛めたり，ハンドルが逆回転し傷害事故のおそれがありますので，絶対にしないでください。

1. セルスタータ始動の項目１～４と同じ操作をしてください。
2. スタートハンドルを差込み少し回すと，圧縮の手ごたえを感じます。
   圧縮位置は，上と下がありますが，必ず下側**【A図】**に合わせて圧縮を起こしてください。

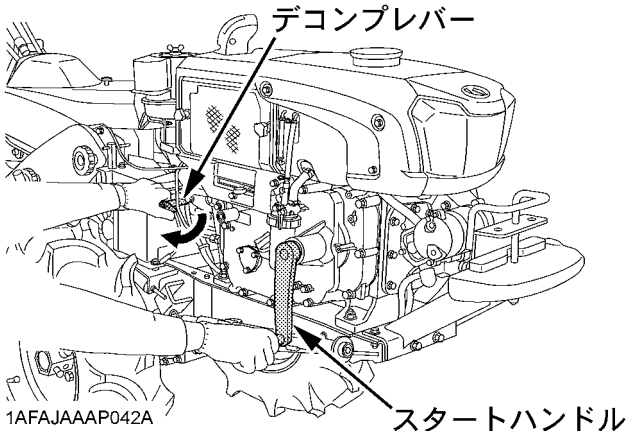
【A図】



【B図】



3. 左手でデコンプレバーを時計方向に回したままの状態で，右手でスタータハンドルをゆっくり回し，燃料の噴射音（”シュ”・”シュ”）を確かめます。



4. スタートハンドルを加速させながら回して（２～３回以上），勢いのついたころデコンプレバーを放すと共にハンドルに更に力を入れて回すと始動します。

補　足

＊ スタートハンドルは標準装備されておりません。
　別途，ご購入ください。

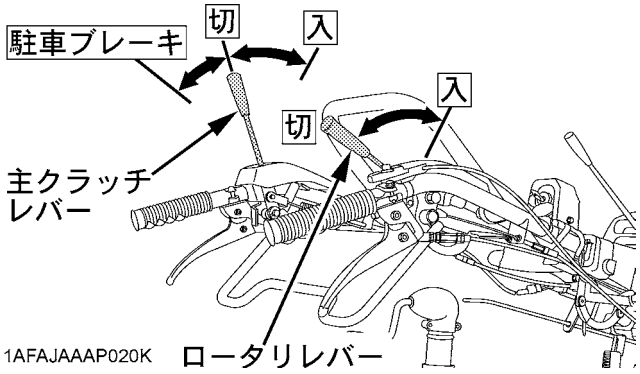
型式名	品番	品名
KRA750	1J130-6105-0	ハンドルキット(スタート)
KRA850	1J150-6105-0	ハンドルキット(スタート)

■エンジンの停止のしかた

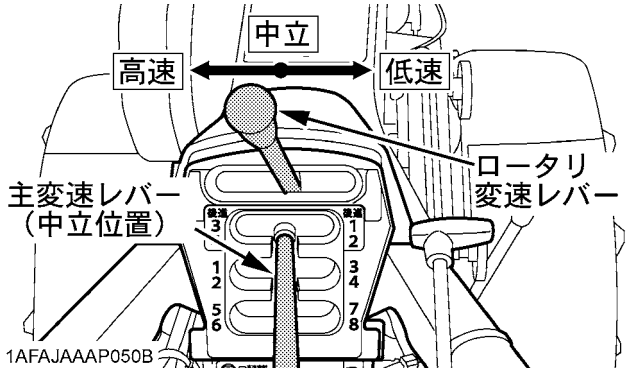
警　告

＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。また，ラジエータキャップを開けないでください。熱湯でヤケドをするおそれがあります。

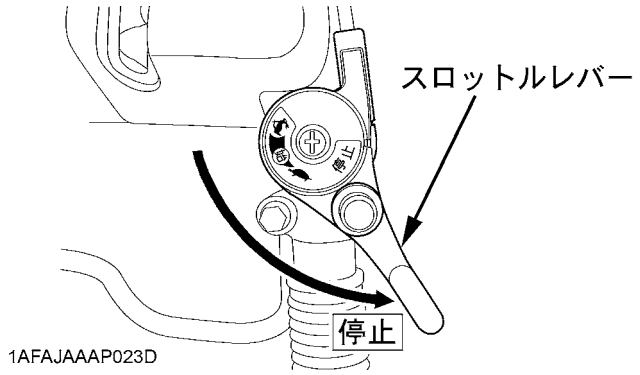
1. 主クラッチレバーとロータリレバーを**【切】**位置にします。



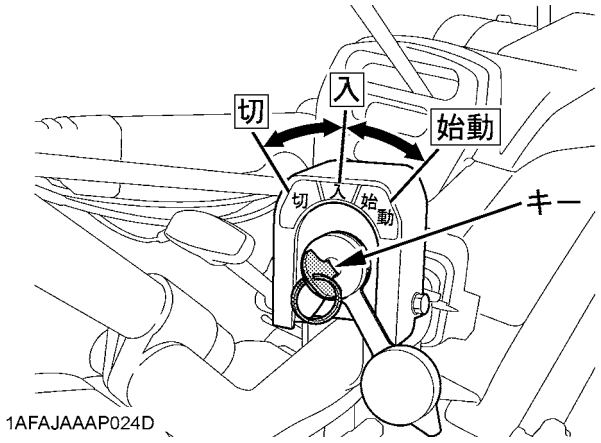
2. 主変速レバーとロータリ変速レバーを**【中立】**位置にします。



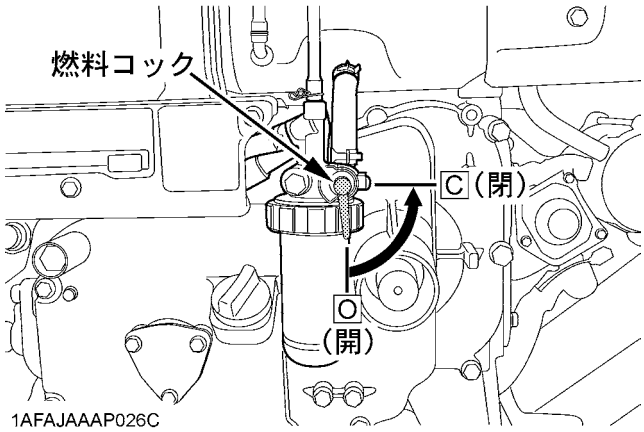
3. スロットルレバーを**【停止】**位置にするとエンジンが停止し，ブザーが鳴ります。



4. キーを**【切】**位置にします。ブザーが止まります。



5. 燃料コックを**【C】**（閉）位置にします。



重　要

＊ デコンプレバーでのエンジン停止は絶対にしないでください。

＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。

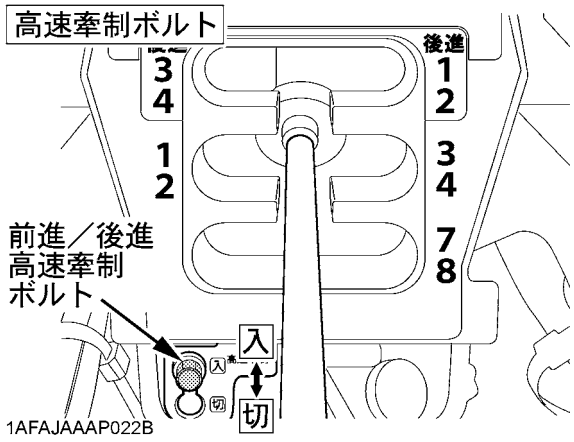
発進のしかた

警　告

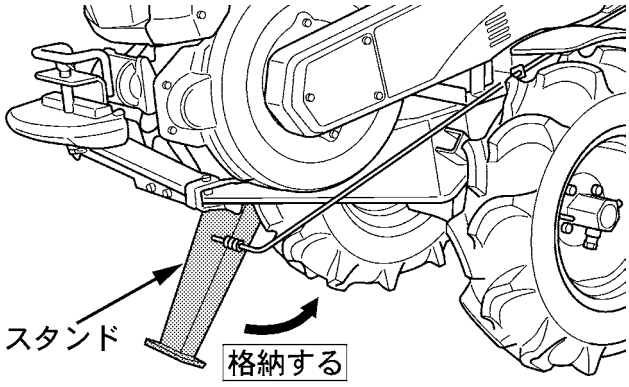
＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
＊ 高速牽制が確実に作動するか確認してください。
＊ 高速牽制している変速位置には，無理にレバー操作をしないでください。
＊ 移動の際は，ロータリの回転を止めてください。

注　意

＊ 変速操作は主クラッチを［切］位置にしてから行なってください。
＊ 走行中は変速しないでください。
＊ 前進７・８速，後進３・４速はたいへん速いので危険です。トレーラ走行以外では使用しないでください。



1. スロットルレバーを操作して，エンジン回転を低速にします。
2. スタンドレバーを引き，スタンドを格納します。



1AFAJAAAP002E

3. 主クラッチレバーが**［切］**の位置にあることを確認した後，変速レバーを必要な変速位置にします。
4. 主クラッチレバーを**［入］**にして発進します。
5. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

作業のしかた

上手な作業のしかた

下記操作手順を守り安全作業を心掛けてください。

■作業前の準備

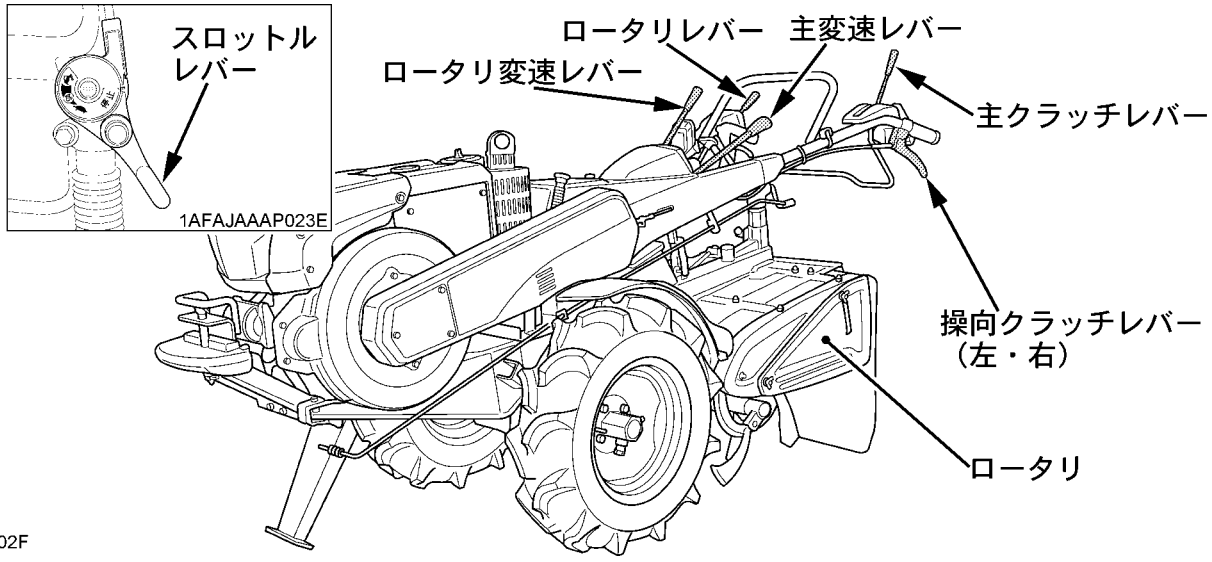
＊**［各部の名称と装置の取扱い］**および**［各部の調節］**を参照して，作業目的に合わせた設定を行ってください。

■耕うん作業手順

1. 主クラッチレバーを**［切］**位置にします。
2. 主変速レバー・ロータリ変速レバーを作業に応じた位置に入れます。
3. スロットルレバーでエンジン回転を調整します。
4. 主クラッチレバーを**［入］**・ロータリレバーを**［入］**位置にし，発進します。
5. スロットルレバーを操作し，速度やロータリ回転数を調節します。
6. 変速するときは必ず主クラッチレバーを**［切］**位置にしてから行なってください。

■耕うん作業での旋回手順

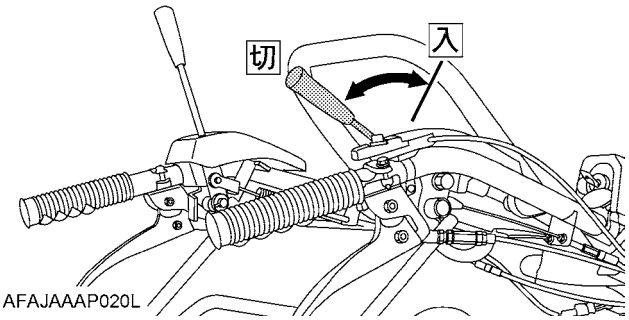
1. スロットルレバーを低速にします。
2. ロータリレバーを**［切］**位置にします。
3. ハンドルを持ち上げ，操向クラッチレバーの**［左・右］**の曲がりたい方向を握り旋回します。
4. 旋回後，操向クラッチレバーを離し，スロットルレバーで再度エンジン回転を調整します。
5. ハンドルを押し下げ，ロータリレバーを**［入］**位置にして作業を行ないます。



1AFAJAAAP002F

■ロータリレバー

あぜぎわ旋回する手前で，ロータリレバーを**［切］**にし，あぜぎわでハンドルを持上げると爪の回転が自動的に止まります。安全で泥の飛散もなくきれいな作業ができます。



1AFAJAAAP020L

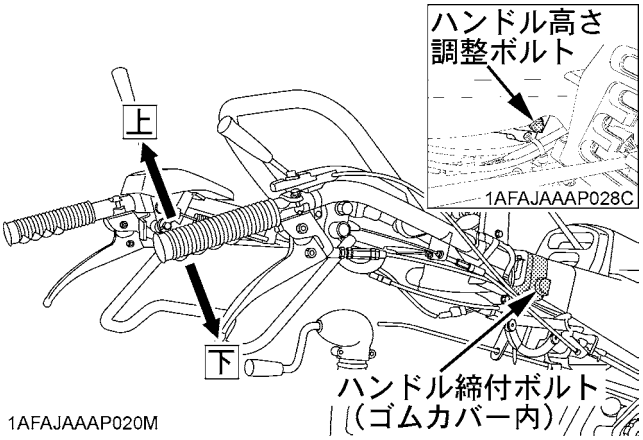
各部の調節

■ハンドル高さの調節

警 告

＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

1. ハンドル締付ボルト（左右共）をゆるめてください。
2. ハンドル高さ調節ボルト（左右共）を外してください。
3. 希望する高さ（２段階）にボルトを取付け，調節後は左右のボルトを確実に取付けてください。



1AFAJAAAP020M

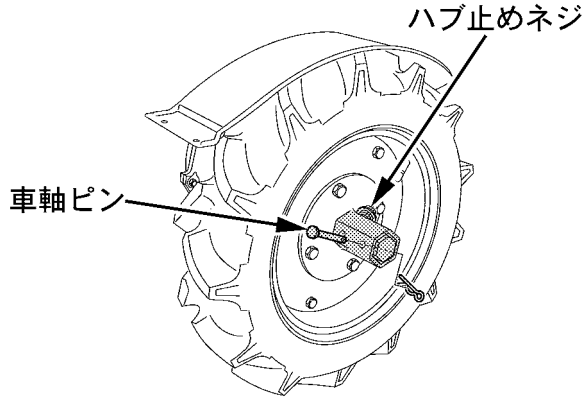
■車輪幅（輪距）の調節・車輪交換のしかた

警 告

＊ 輪距の調節時は，固い地面の平坦で安定した場所に停止してください。
＊ 必ずエンジンを停止して，駐車ブレーキをかけて作業してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ ロータリ部の土は取除いてください。
＊ 培土機等のアタッチメントは取外してください。
＊ 調整後はハブ止めネジを確実に締付けてください。

＊ マジックジャッキを使用する場合は，固くて平らな場所で使用してください。特に車輪の隙間が狭い場合は，機体が傾きすぎて倒れるおそれがあるので，じゅうぶん注意して行ってください。
＊ マジックジャッキを使用する場合は，車輪を持上げた後，ハンドル部を上下にひっぱり機体が安定している事を確認してください。

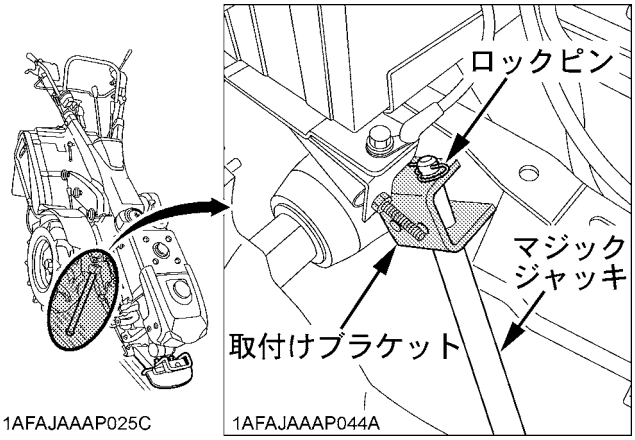
作業条件に応じて，車輪間隔調節と車輪交換は次のとおり行います。ハブ止めネジをゆるめ，車輪ピンを抜いて調節や交換を行なってください。



1AFAJAAAP030B

◆ マジックジャッキの使いかた

1. 前フレーム右側面に取付けてあるマジックジャッキを取外します。
2. 交換又は，調整のために浮かせたい車輪側の前フレーム取付けブラケットにマジックジャッキを差込みロックピンで固定します。
3. スタンドを収納し，ハンドルを押し上げ前部ウエイト･マジックジャッキを接地させます。



1AFAJAAAP025C
1AFAJAAAP044A

■後輪の調節（耕深調節・移動）

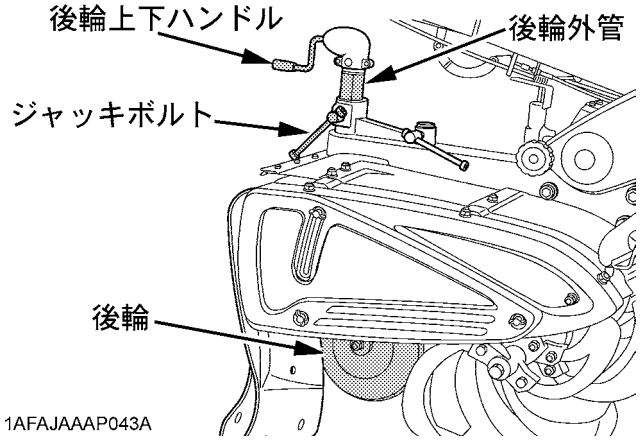
警　告

＊ 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。
＊ 耕深を深くしすぎると，思わぬ方向に機体が飛び出し傷害事故につながるおそれがあります。浅めの耕深から徐々に調節してください。

後輪の高さを調節することで耕深調節ができます。移動に使用する際は、爪が地面に接地しない高さまで後輪を下げます。

1. 耕深を大きく調節する時はジャッキボルトをゆるめ後輪外管を上下させて後輪の高さを調節します。
2. 耕深を微調節する時は後輪上下ハンドルを回して後輪の高さを調節します。

- 右に回す…耕深が深くなります。
- 左に回す…耕深が浅くなります。



重　要

＊ 調節後はジャッキボルトを確実に締付てください。

■サイドカバーの調節

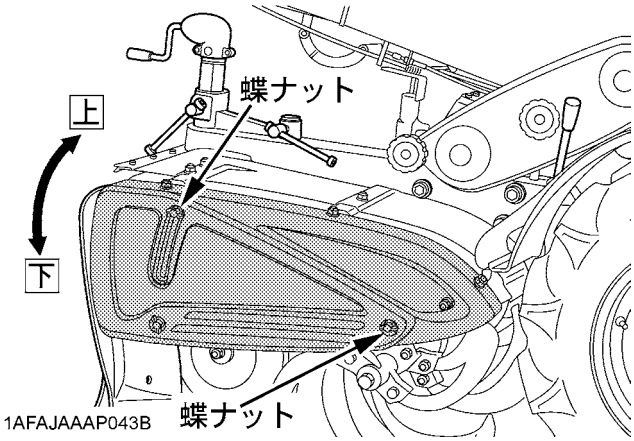
注　意

＊ 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こす恐れがあります。
＊ 巻き込まれによる傷害事故防止のため，運転時はサイドカバーを必ず装着してください。
＊ 作業終了後はサイドカバーを一番下まで下げてください。

使用するアタッチメントや作業により，サイドカバーを蝶ナットで上下に調節してください。

補　足

＊ カバー位置による作業の目安。
　・上げる…荒起こし
　・下げる…通常耕うん・代かき

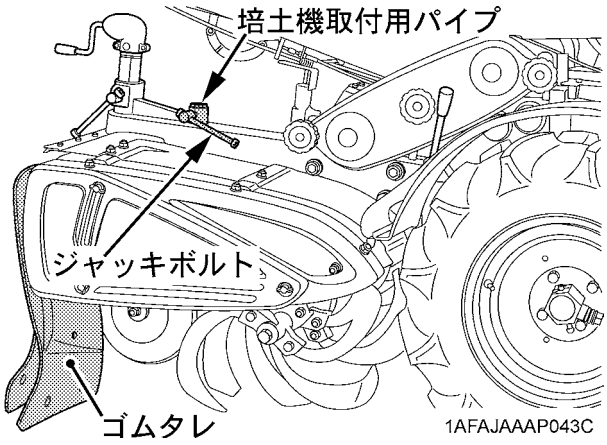


■培土機の取付けかた

警　告

＊ 培土機の取付け時は，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。

1. 機体のエンジン側を接地させます。
2. 取付けはゴムタレをあげて培土機取付用パイプのキャップを外し培土機を挿入して，ジャッキボルトでセットします。
   詳細は培土機の取扱説明書を参照してください。

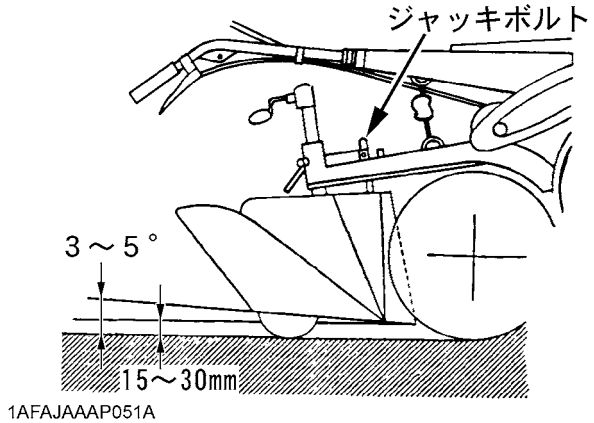


重　要

＊ 調節後は，ジャッキボルトを確実に締付けて固定してください。
＊ うね立て作業時以外は，ゴムタレを下げて作業を行ってください。

補　足

＊ 車輪の種類や大きさに応じて，培土機の高さと取付け角度を図のように調節してください。



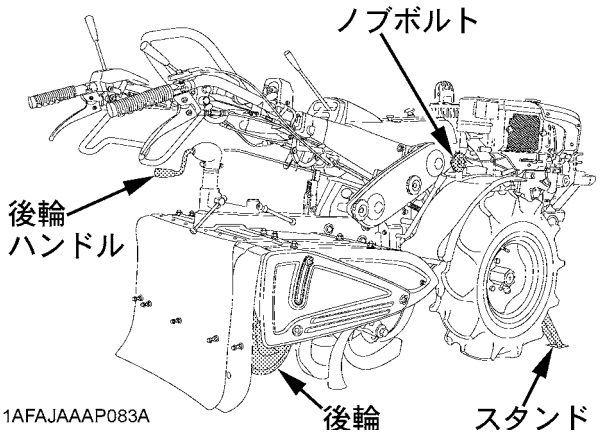
■ロータリの着脱のしかた

注　意

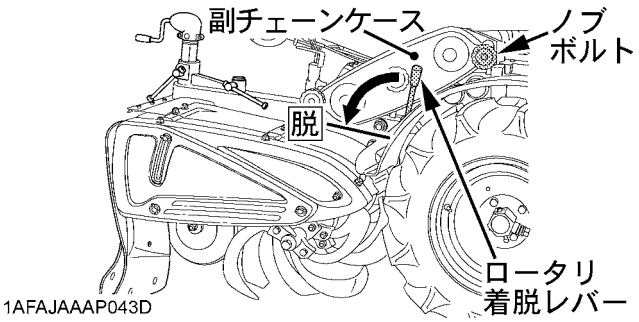
＊ ロータリの取外し･取付けをするときは，本機を平坦な広い場所に置き，必ずエンジンを停止して作業してください。
＊ ロータリを取外した後は，本機接合部（PTO軸）に付属のカバーを必ず取付けてください。

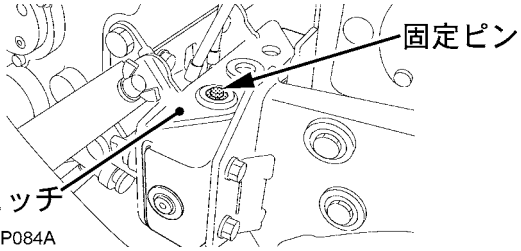
◆ ロータリの外しかた

1. スタンドを立て機体を安定させます。
2. 耕うん爪を地面に接地させたとき，後輪が５～８㎝地面から浮くように後輪ハンドルで調節します。

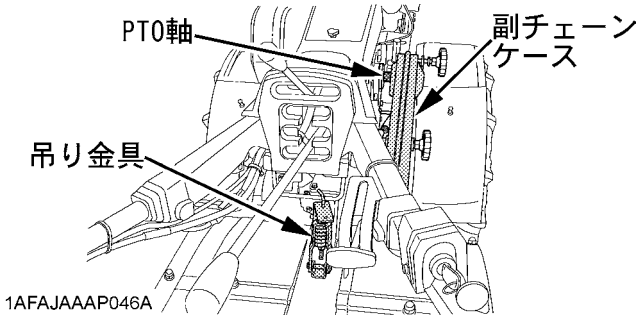


3. 副チェーンケース前側のノブボルトを外します。固くて回せない場合はスパナを使用して外してください。
4. ロータリ着脱レバーを**【脱】**側にし，固定ピンを外します。

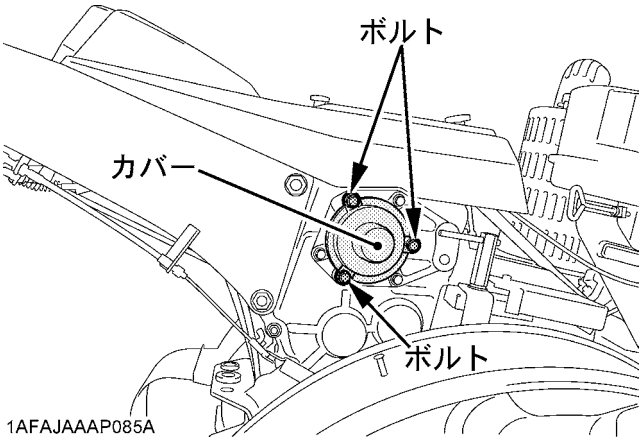




5. ハンドルを少し押し下げて，本機を左右に振って，本機接合部（PTO 軸）と副チェーンケースを離します。

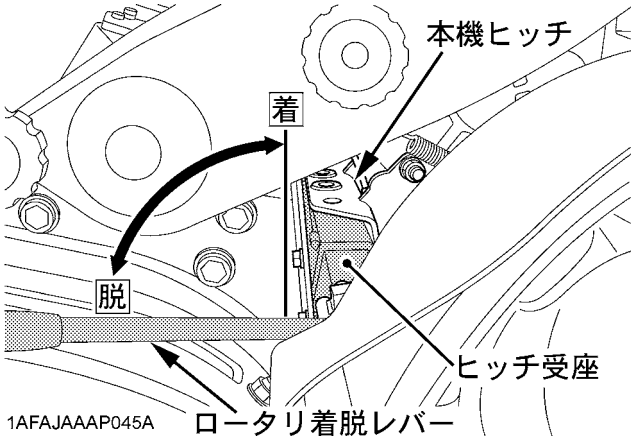


6. 吊り金具を外し，機体を前方に押すとロータリを取外すことができます。
7. 取外しが終わると，本機接合部に PTO カバー（付属品）をボルト３本で取付けてください。

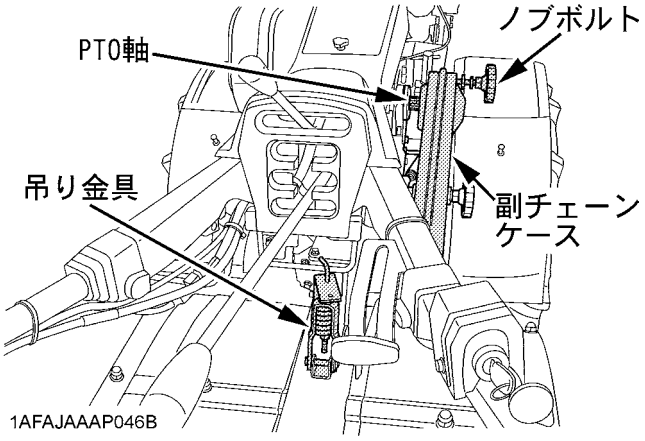


◆ ロータリの取付けかた

1. ロータリ着脱レバーを**【脱】**位置にします。
2. ハンドルを押下げ，吊り金具をハンドル引掛け部に取付けます。
3. ハンドルを持上げ，本機ヒッチにロータリのヒッチ受座を入れます。



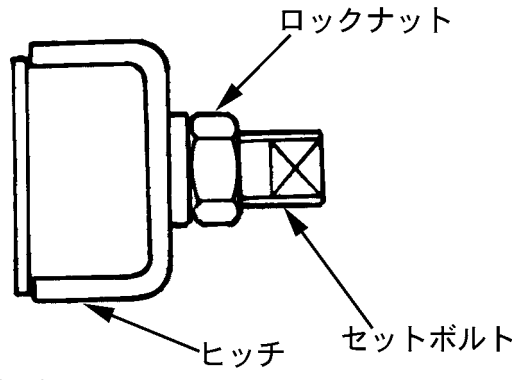
4. 副チェーンケースを本機接合部（PTO 軸）に合わせて押し込みます。
5. ノブボルトで仮止めします。



6. ロータリ着脱レバーを**【着】**位置にし，固定ピンを本機ヒッチにはめてロータリ部を固定し，ノブボルトを締付けます。

重　要

＊ ロータリ部を取付けた状態で，ロータリ部全体がガタつく場合，ロックナットをゆるめて，セットボルトを多少（1/4 ～ 1/2 回転程度）増締めして，ロックしてください。（左右２ヶ所）
また，レバーが重くて作動しない場合は，逆にセットボルトを多少（1/4 ～ 1/2 回転程度）ゆるめて，ロックしてください。（左右２ヶ所）



簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警　告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

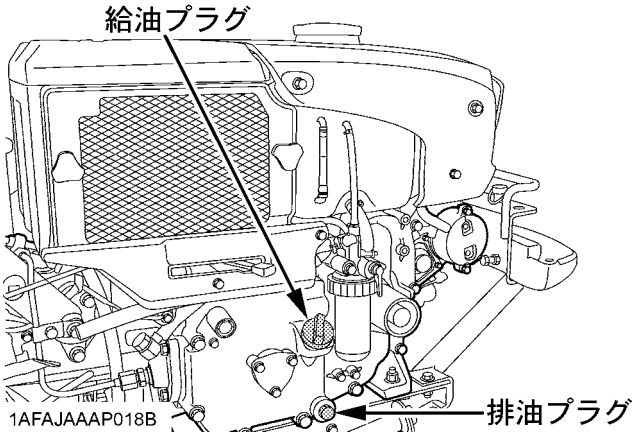
警　告

＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。

■エンジンオイルの交換

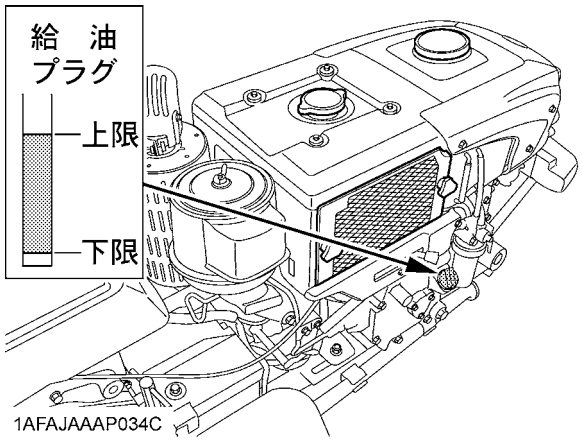
◆ 排油のしかた

前スタンドを立てて，給油プラグを外し，そのあと排油プラグ（オイルフィルタ）を取外し，排出してください。



◆ 給油のしかた

エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて，上限まで入れます。（給油プラグをねじこんで確認します。）



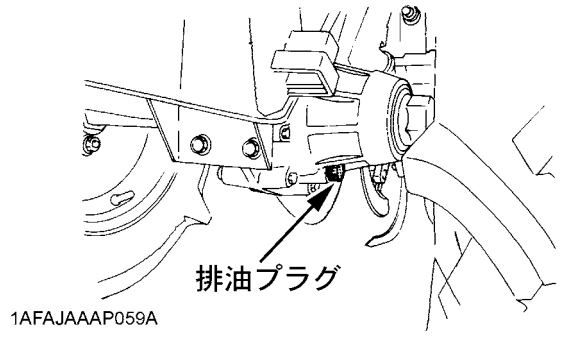
重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル（ ディーゼルエンジン用）D10W-30 又は CD 級以上とご指定の上，お求めください。（オイルの点検と交換表を参照）
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

■ミッションオイルの交換

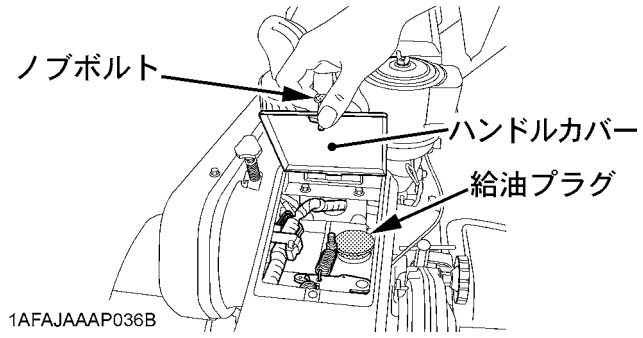
◆ 排油のしかた

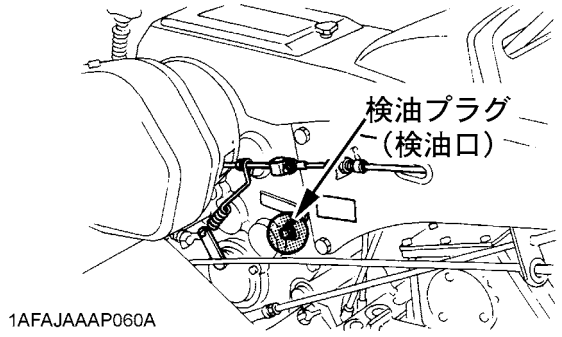
ミッションオイル排油プラグを外して排油します。



◆ 給油のしかた

1. スタンドを立て機体を安定させます。
2. ハンドルカバーのノブボルトを外し開きます。
3. 検油プラグを外し，検油口からオイルがあふれるまで給油してください。





重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先のクボタ純オイル M80B，M90 又はスーパー UDT-2 とご指定の上，お求めください。(オイルの点検と交換表を参照)

＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

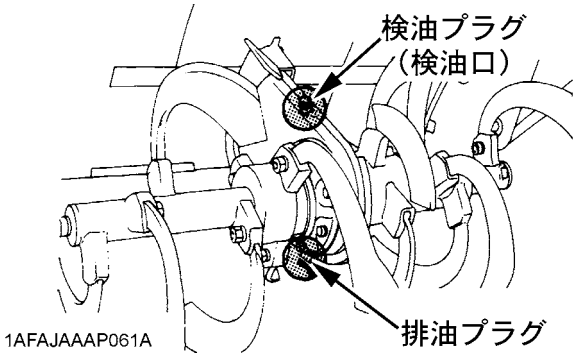
＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

■ロータリケースオイルの交換

[センタドライブ仕様]

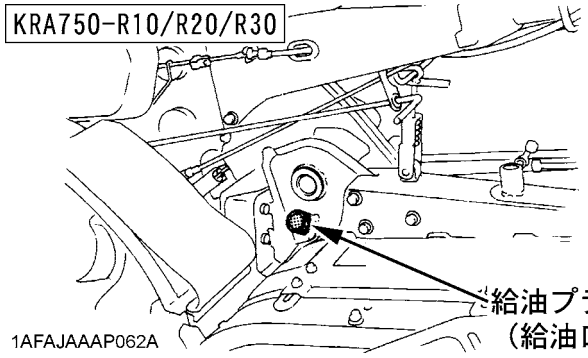
◆ 排油のしかた

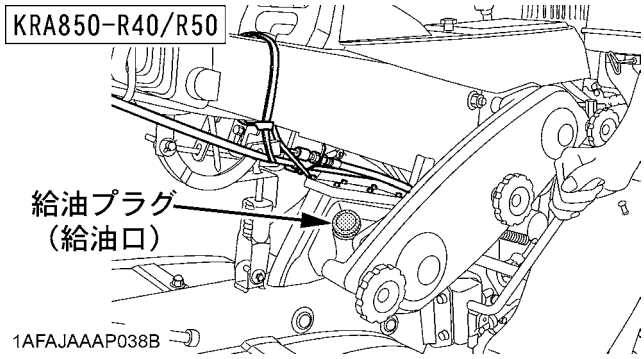
機体を水平にし，排油プラグを外して排油します。この時，必ずオイルパン等で受けてください。



◆ 給油のしかた

前スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，検油口からオイルがあふれるまで給油してください。





重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先のクボタ純オイル M80B 又は M90 とご指定の上，お求めください。(オイルの点検と交換表を参照)

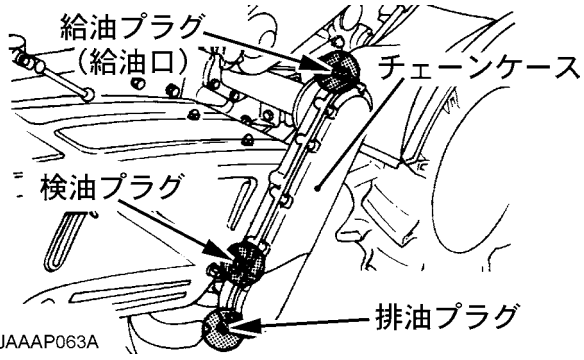
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

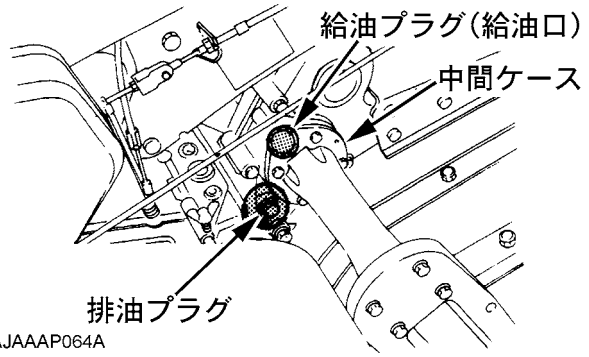
＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

[サイドドライブ（KRA850-R60）仕様]

◆ 排油のしかた

機体を水平にし，チェーンケース側と中間ケース側の排油プラグを外して排油します。
この時，必ずオイルパン等で受けてください。



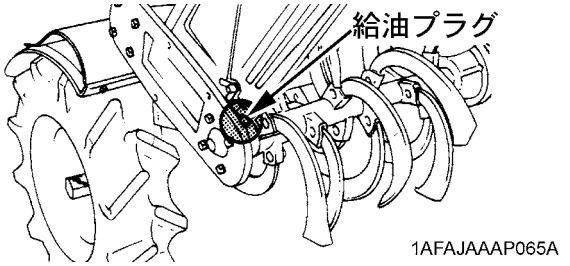


◆ 給油のしかた

前スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，検油口からオイルがあふれるまで給油してください。

◆ 爪軸オイルシール部オイルの補給のしかた

スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，オイルがあふれるまで給油してください。



重　要

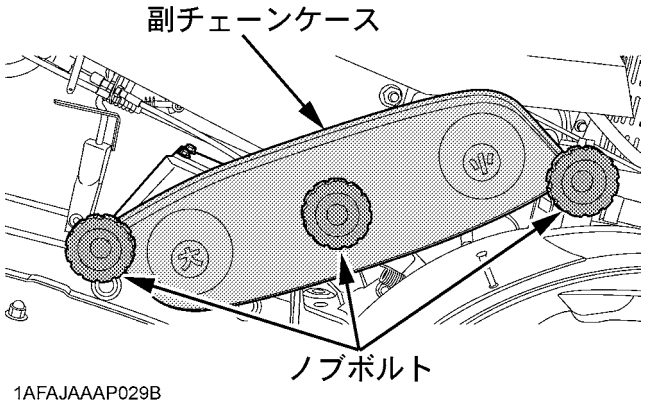
＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先のクボタ純オイル M80B 又は M90 とご指定の上，お求めください。（オイルの点検と交換表を参照）
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
＊ オイルを交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出させるために，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

■オイルの点検と交換表

型式名		KRA750	KRA850
エンジンオイル	オイル量	2.3L	2.4L
	点検方法	エンジン水平状態	
	交換 第一回目	25 時間使用後	
	交換 第一回目以後	100 時間使用後又は年 1 回	
	オイル の種類	クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用） D10W-30 又は CD 級以上	
ミッションオイル	オイル量	6.5L	
	点検方法	スタンドを立てた状態	
	交換 第一回目	20 時間使用後	
	交換 第一回目以後	100 時間使用後又は年 1 回	
	オイル の種類	クボタ純オイル M90，M80B 又は スーパー UDT-2	
センタドライブ仕様 ロータリケースオイル	オイル量	0.7L	
	点検方法	スタンドを立てた状態	
	交換 第一回目	20 時間使用後	
	交換 第一回目以後	100 時間使用後又は年 1 回	
	オイル の種類	クボタ純オイル M90 又は M80B	
サイドドライブ仕様 ロータリケースオイル	オイル量	－	［チェーンケース］0.7L ［中間ケース］0.5L
	点検方法	－	スタンドを立てた状態
	交換 第一回目	－	20 時間使用後
	交換 第一回目以後	－	100 時間使用後 又は年 1 回
	オイル の種類	－	クボタ純オイル M90 又は M80B
サイドドライブ仕様 爪軸オイルシール部	オイル量	－	適量
	点検方法	－	スタンドを 立てた状態
	補給 第一回目	－	20 時間使用後
	補給 第一回目以後	－	50 時間使用後 又は年 1 回
	オイル の種類	－	クボタ純オイル M90 又は M80B

■副チェーンケースのグリース補充

1. ノブボルト３箇所を外し副チェーンケースを外します。
2. グリースを適量補充します。



1AFAJAAAP029B

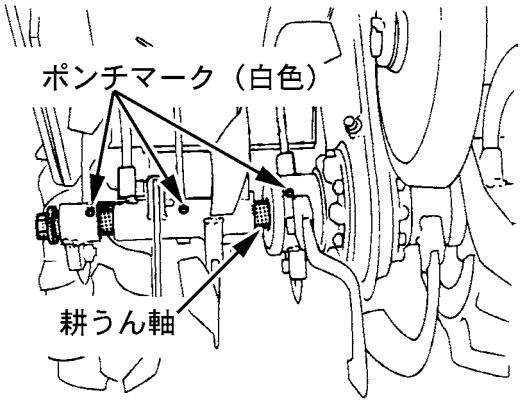
クボタチェーングリースまたは良質グリースを適量	50 時間使用ごと

■耕うん軸へのグリース塗布

耕うん軸にグリース又はオイルを塗布しておくと，爪軸の着脱が楽になります。

重　要

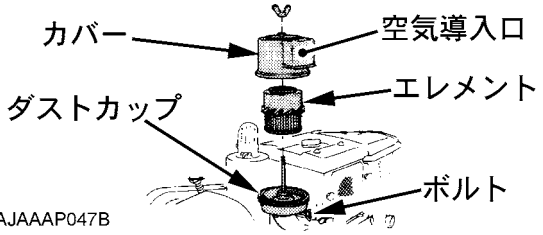
＊ ポンチマーク（白色）を合わせて取付けます。



1AFAJAAAP066A

■エアクリーナエレメントの清掃

1. ダストカップにたまったゴミを捨て，内部をきれいにふいてください。
2. エレメントは、軽くたたきながらゴミを落とすか，圧縮空気を内側から吹付けてください。



1AFAJAAAP047B

エアクリーナの点検	50 時間使用ごと
エアクリーナの清掃	100 時間使用ごと
エアクリーナ エレメントの交換	6 回清掃ごと

重　要

＊ エアクリーナカバーの空気導入口をマフラと反対側に向けてください。
＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因となります。
＊ エレメントに穴をあけたときは，新品と取換えてください。穴をあけたままで使用すると，エンジンの寿命を短くします。
＊ 特にチリやほこりの多い作業では早い目に点検，清掃してください。

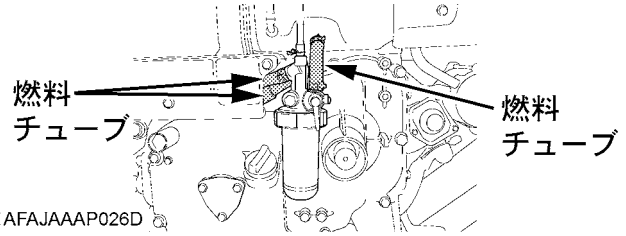
■燃料チューブの交換

交換にあたっては，購入先にご相談ください。

警　告

＊ 燃料チューブは自然劣化したり傷があると，燃料もれして火災の原因となります。作業前に毎回点検し，ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料チューブと交換してください。

交　換	２年間ごと

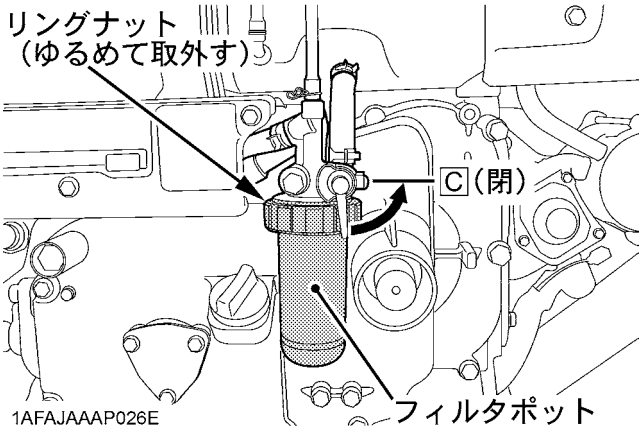


1AFAJAAAP026D

■燃料フィルタの清掃

注 意

＊ 取付け後，燃料もれがないか確認してください。



1. 燃料コックを【C】閉位置にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。
2. 燃料フィルタは，下方にしずかに引張ると取外せます。新しい燃料の中で、すすぎ洗いしてください。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

燃料フィルタの清掃	100 時間使用ごと
タンクの清掃	300 時間使用ごと
燃料フィルタの交換	450 時間使用ごと

重 要

＊ 燃料フィルタに穴を開けた時は，新品と交換してください。穴が開いた状態で使用するとゴミが入り，インジェクションポンプやノズルの寿命を短くします。

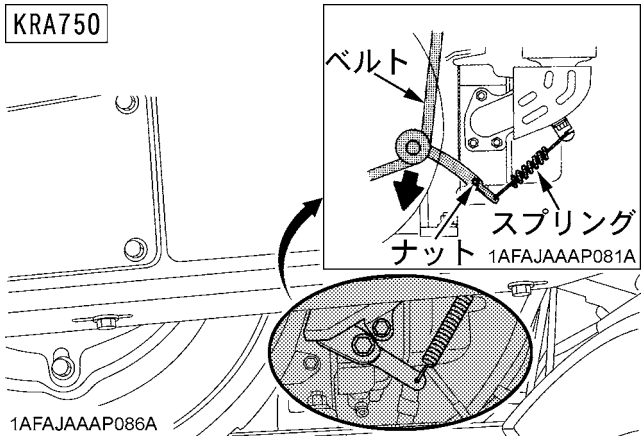
■ファンベルトの張り調整

警 告

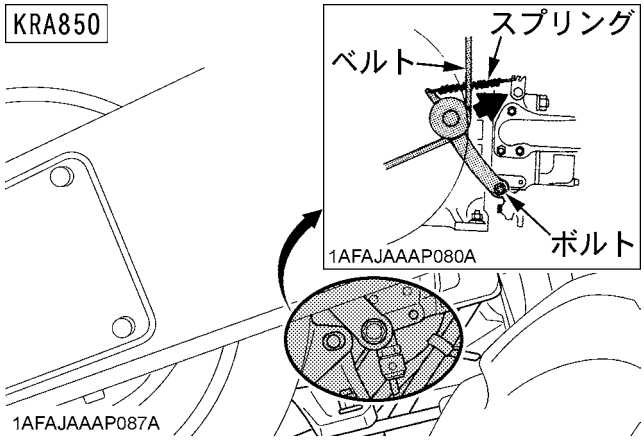
＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。

1. テンショプーリサポートのボルトまたはナットをゆるめるとスプリングで自動的にファンベルトが張られます。
2. ゆるめたボルトまたはナットを固く締付けます。

KRA750



KRA850



張り調整第１回目	50 時間使用後
張り調整第１回目以後	100 時間使用ごと
ファンベルトの交換	500 時間使用ごと または２年ごと

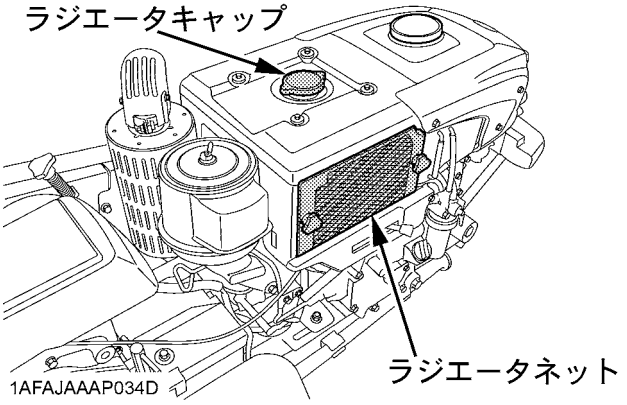
■ラジエータの手入れ

警　告

＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。
＊ 給水後はラジエータキャップを確実に締めてください。

◆ ラジエータの清掃

ラジエータネットやフィンにゴミやホコリがたまると，冷却効果が著しく低下します。
ラジエータネットを外し，中のゴミやホコリをエアーか圧力水を用いて取除いてください。

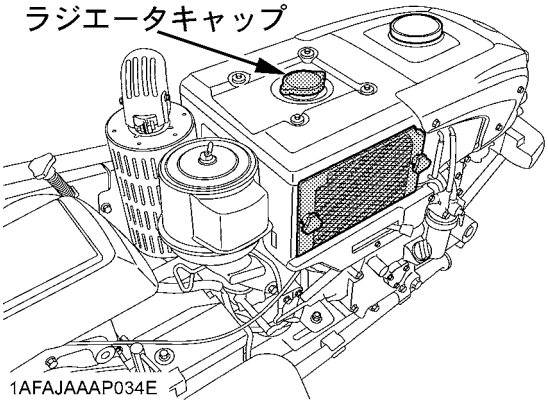


重　要

＊ 清掃にドライバやヘラを使用しないでください。フィンを傷めます。

◆ ラジエータ冷却水の点検・補給・交換

1. ラジエータキャップを開けて，冷却水が口元まであるか点検してください。

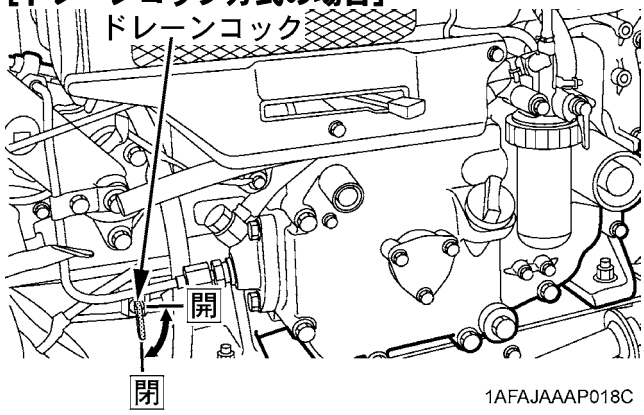


2. 冷却水が蒸発により不足している場合は井戸水か水道水などの，きれいな水（軟水）だけを補給してください。
3. シリンダヘッド下部にあるドレーンコックまたは，ドレーンプラグが閉じていることを確認してください。
4. 冷却水量は下記のとおりです。

機種	ラジエータ（冷却水）
KRA750（EA8-E3-KB4）	1.3L
KRA850（EA11-E3-KB4）	1.6L

5. ラジエータキャップの締め方が不完全な場合、または座面にすき間のある場合は，冷却水が漏れて早く減ります。
6. 冷却水を抜くときは，エンジン及びラジエータがじゅうぶんに冷えてから以下の要領で作業してください。

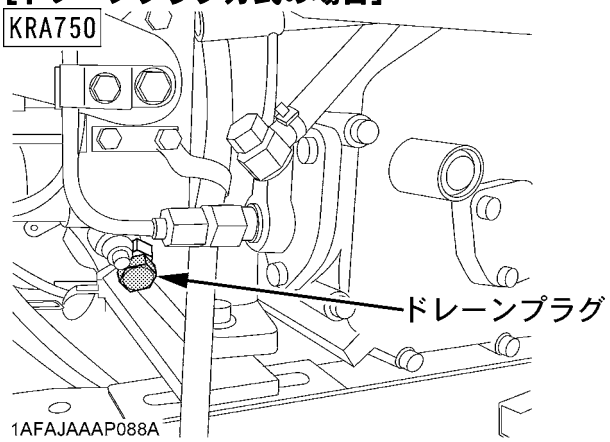
[ドレーンコック方式の場合]



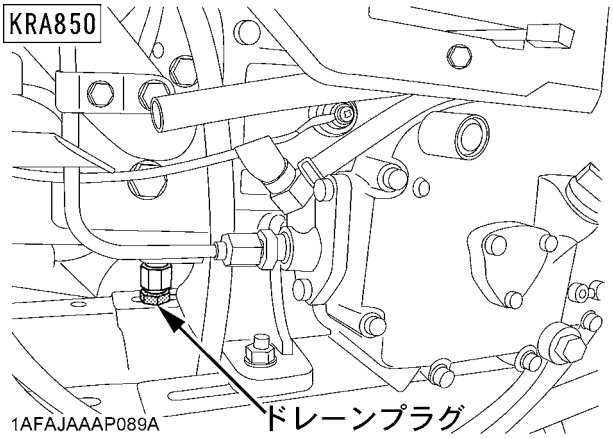
1. ラジエータキャップを装着した状態で，シリンダヘッドの下部にあるドレーンコックを**[開]**位置にします。
2. ドレーンコックを**[開]**位置にした後に，ラジエータキャップを開けてください。
（＊ラジエータキャップを締めたままでは，冷却水が少し出るだけで完全に排出されません。）

[ドレーンプラグ方式の場合]

KRA750

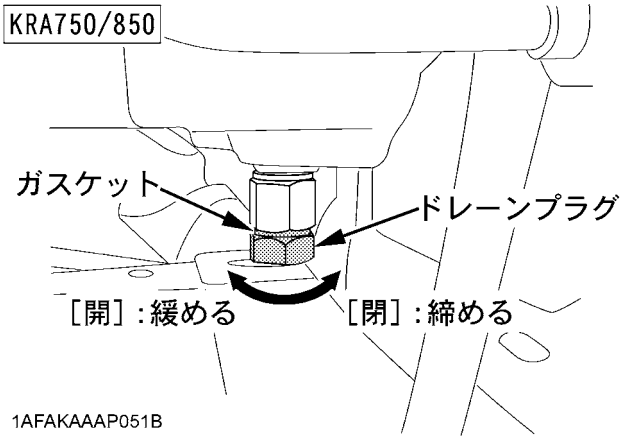


KRA850



1. 冷却水を抜く作業をされる場合は，購入先にご相談ください。
2. エンジン停止から 15 分程度後に，じゅうぶんにエンジンが冷えてから，ラジエータキャップを装着した状態でドレーンプラグをスパナで緩めて外してください。

KRA750/850



3. ドレーンプラグを外した後に，ラジエータキャップを開けてください。
4. 冷却水排水後はドレーンプラグを確実にスパナで締めてください。
   締付トルク：19 ～ 22.5N-m (1.9 ～ 2.3kgf-m)
   ドレーンプラグのガスケットが傷んでいると冷却水漏れの原因となりますので交換してください。

ガスケット品番	04724-00120

重 要

＊ 泥水や海水はぜったいに補給しないでください。
＊ ラジエータキャップは確実に締めてください。
＊ 凍結のおそれがあるときは，不凍液を入れてください。
＊ 不凍液につきましては，購入先にご相談ください。

■タイヤ空気圧

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

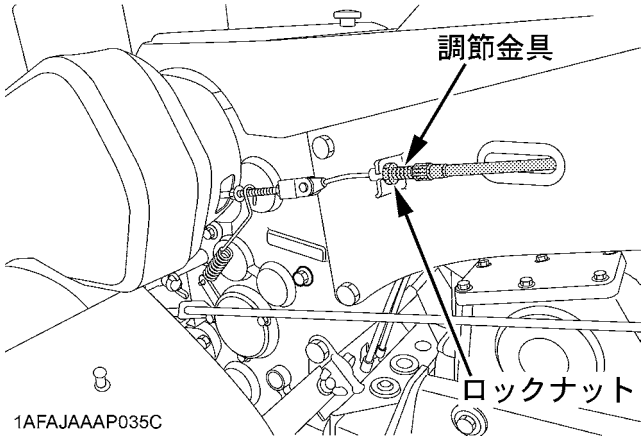
空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

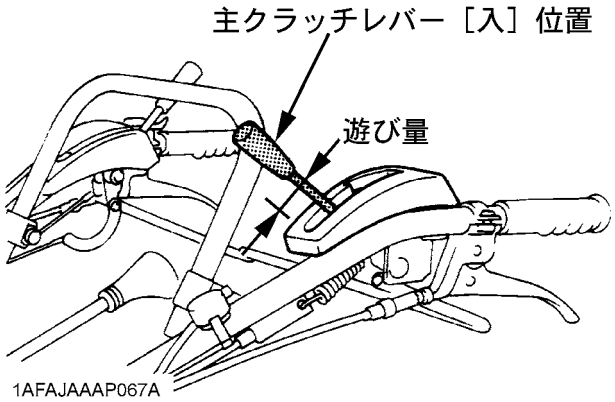
適正空気圧	120kPa (1.2kgf/cm²)

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

■主クラッチケーブルの調節

主クラッチレバーが切れにくくなった場合または入りにくくなった場合は，調節金具のロックナットをゆるめ，主クラッチレバー**［入］**位置でのあそび量を調節します。





適正調節量	レバーの遊び量 15 ～ 24mm

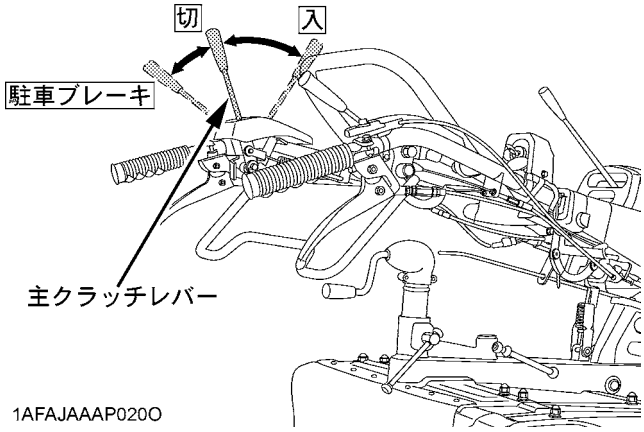
重　要

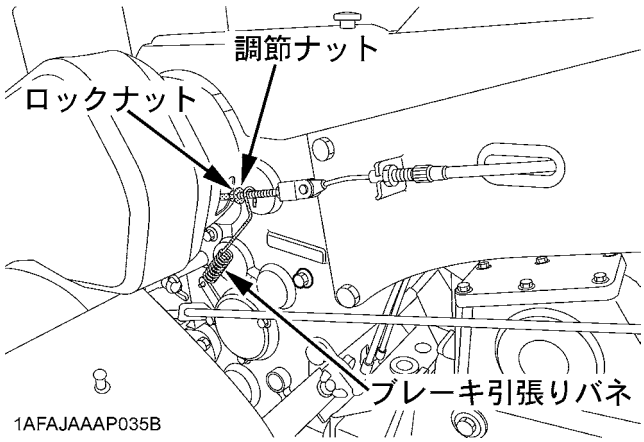
＊ 調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

■駐車ブレーキの調節

主クラッチレバーを**［駐車ブレーキ］**位置にしてもブレーキが効かないとき又は，主クラッチ**［切］**の位置でブレーキが効くときなどは次のように調節します。

1. 主クラッチレバーを**［切］**位置に入れます。
2. 駐車ブレーキ調節ナットのロックナットをゆるめます。
3. 駐車ブレーキ調節ナットを調整し，ブレーキ引張りバネが効き始める位置でロックナットを固定します。





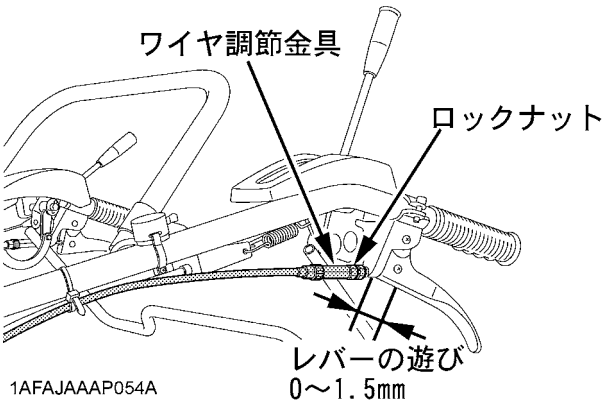
重　要

＊ 調節後は，調節ナットのロックナットを確実に締付けてください。

■操向クラッチケーブルの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，また操向クラッチレバーを放しても戻りにくい場合，ケーブル調節金具のロックナットをゆるめてレバーの遊びを 0 ～ 1.5㎜ に調節します。

操向クラッチ	調節金具
切れにくい場合	調節金具を長くします。
戻りにくい場合	調節金具を短くします。

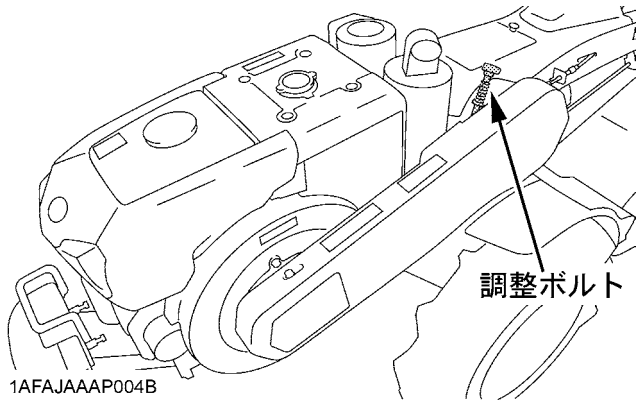


■Ｖベルトの張り調節

注　意

＊ ベルトの調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

1. Ｖ ベルトは使用しているうちに少しづつ伸びてきて，すべる場合があります。このような場合は，バネが密着するまで調節ボルトを締込んで，ベルトを張ってください。



2. ベルトを締込んでもすべって調整できない場合は，ご購入先に相談してください。

■後進牽制装置の調節

警　告

＊ 後進牽制装置の解除は絶対にしないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

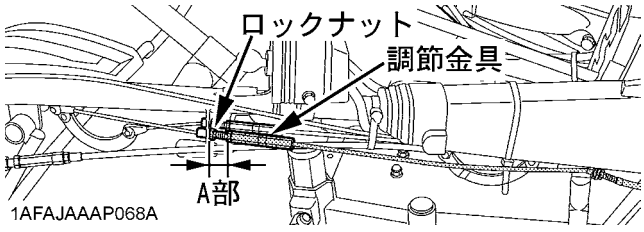
注　意

＊ 牽制ケーブルの調節後は必ず調節金具のロックナットを確実に締付けてください。
＊ 調節終了後は必ず主変速レバー・ロータリ変速レバーを［中立］に戻してください。

ロータリレバーと主変速レバー**【後進】**位置に安全装置をもうけてあります。

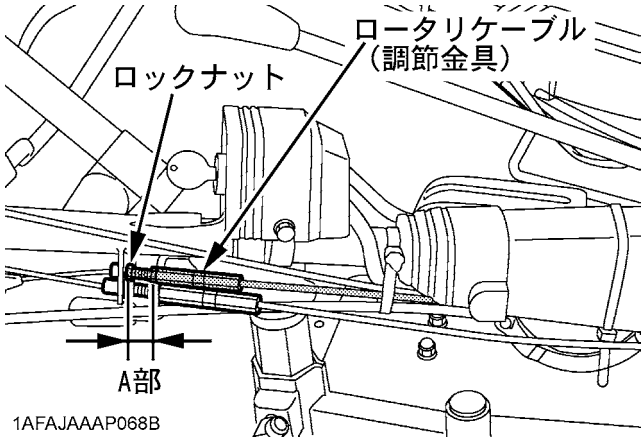
- 主変速レバーが**【後進】**位置のときはロータリレバーは**【入】**位置に入りません。
- ロータリレバーが**【入】**位置のときは主変速レバーを**【後進】**位置に入れると，ロータリレバーは自動的に**【切】**位置になります。
  上記の牽制が作用しない場合は ，後進牽制ケーブルのロックナットをゆるめ,A部の長さを調節金具で調節してください。

主変速レバーが**【後進】**位置に入っているのにロータリレバーが**【入】**位置に入る場合	調節金具のＡ部を長くする。
ロータリレバーが**【入】**位置の状態で主変速レバーを**【後進】**位置に入れた時にロータリレバーが**【切】**位置に戻らない場合	
主変速レバーが**【前進】**位置に入っているのに牽制が働いて，ロータリレバーが**【入】**位置に入らない場合	調節金具のＡ部を短くする。
ロータリレバーが**【切】**位置なのに牽制が働いて，主変速レバーが**【後進】**位置に入らない場合	



■ロータリケーブルの調節

1. エンジンを始動し，主変速レバーを**［中立］**位置に入れ主クラッチレバーを**［入］**位置にします。
2. ロータリレバーを**［入］・［切］**して，ロータリ爪軸の回転・停止が確実に行なえるか点検します。
3. 点検をしてロータリレバーが**［切］**位置の時に爪軸が回転する場合は，ケーブル調節金具のロックナットをゆるめて調節金具の A 部を長くする方向に調節します。



1AFAJAAAP068B

耕うん爪の取付けかた

警　告

- **＊ 爪の交換時は，エンジンを停止してください。**
- **＊ サイドカバーを外した時は，危険ですから必ず，爪交換後サイドカバーを確実に取付けてください。**
- **＊ 爪交換時はロータリに付いた土を落とし，ロータリ部が落下しないようにしてください。**
- **＊ 上記の手順をおこたると，傷害事故のおそれがあります。**

重　要

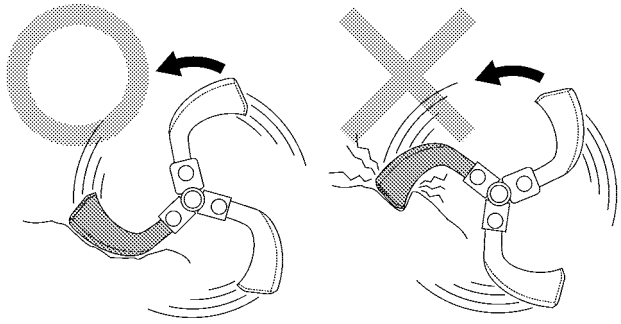
＊ 爪軸ブラケットと耕うん爪の番号を合わせ，間違いのないように取付けてください。
＊ 爪軸は，左右の合いマーク（白色）が一列になるように組付けてください。
＊ 図中（イ）（ロ）（ハ）（ニ）（ホ）（ル）（リ）及び（左）（右）の印は爪ブラケットの刻印を示しています。
＊ 爪の内外の向き，ならびに種類を間違えないようにしてください。
＊ 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないか確認し，増締めをしてください。
＊ 爪を交換後は，ボルト・ナットを確実に締めてください。

◆ ナタ爪の取付け時の注意

重　要

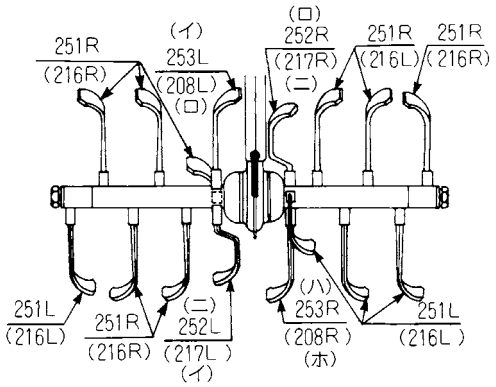
＊ 爪軸の取付け方法と逆の回転方向で使用すると，故障や前方への飛び出しの原因となります。

爪を取付ける向き


1AFACABAP084A

■センタドライブ・ストレートセンタ仕様
◆ KRA750-R10/KRA850-R40 ロータリ

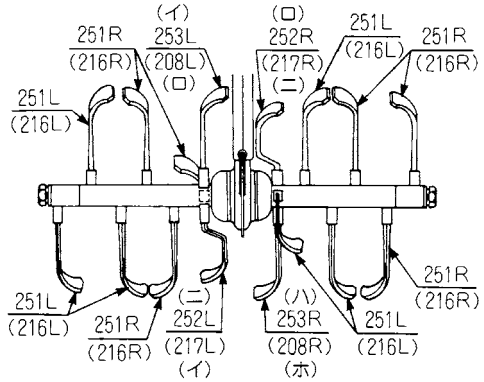
[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]



1AFAJAAAP069A

[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]

[平面耕の場合]



1AFAJAAAP070A

[平面耕の場合]

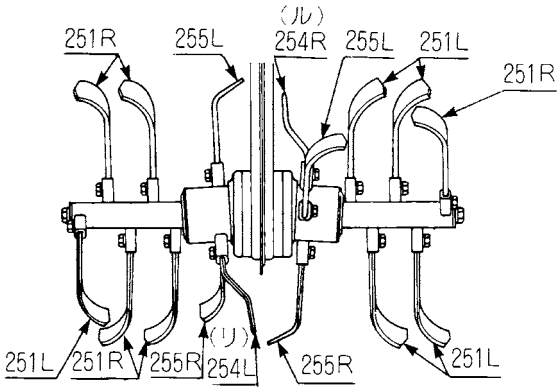
締付けトルク（M10）	43 ～ 50N・m

重　要

＊ 耕うん爪番号：（ ）なし番号は KRA750 で爪軸は一体型です。（ ）付き番号は KRA850 で爪軸は分割式です。

■センタドライブフルカット仕様
◆ KRA750-R20・R30 ロータリ

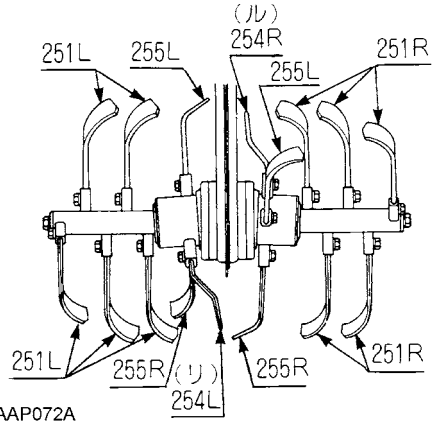
[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]



1AFAJAAAP071A

[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]

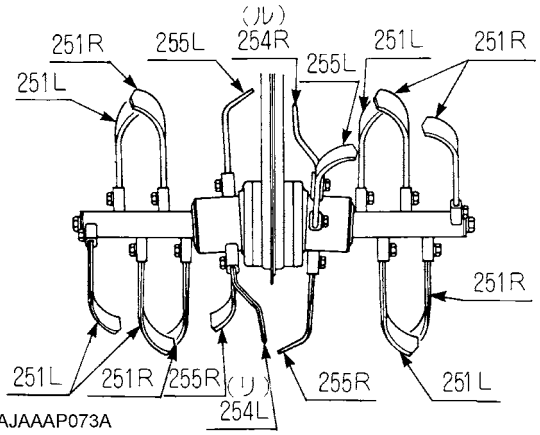
[内盛り耕うんの場合]



1AFAJAAAP072A

[内盛り耕うんの場合]

[平面耕の場合]

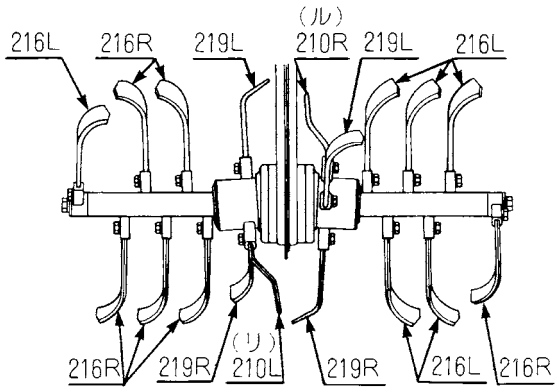


1AFAJAAAP073A

[平面耕の場合]

◆ KRA850-R50 ロータリ

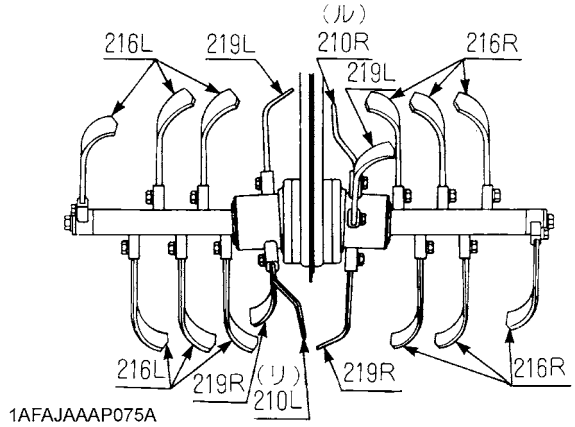
[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]



1AFAJAAAP074A

[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]

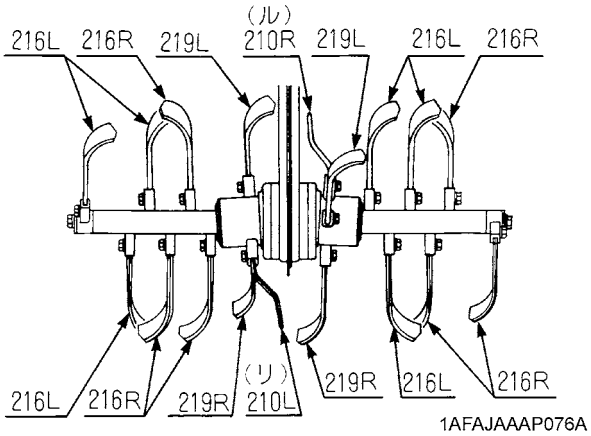
[内盛り耕うんの場合]



1AFAJAAAP075A

[内盛り耕うんの場合]

[平面耕の場合]



1AFAJAAAP076A

[平面耕の場合]

締付けトルク（M10）	43 ～ 50N・m

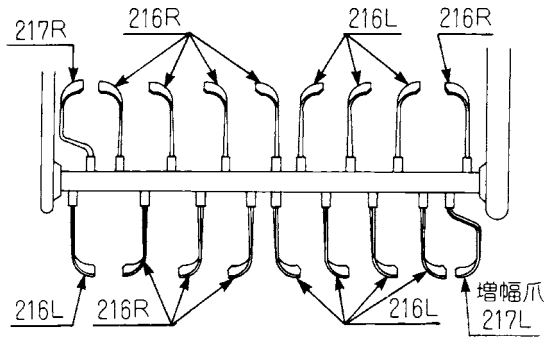
■サイドドライブ仕様

◆ KRA850-R60 ロータリ

補　足

＊ 216 号耕うん爪左右を標準として取付けます。増幅爪（6cm 広くできる）は図のように取付けます。

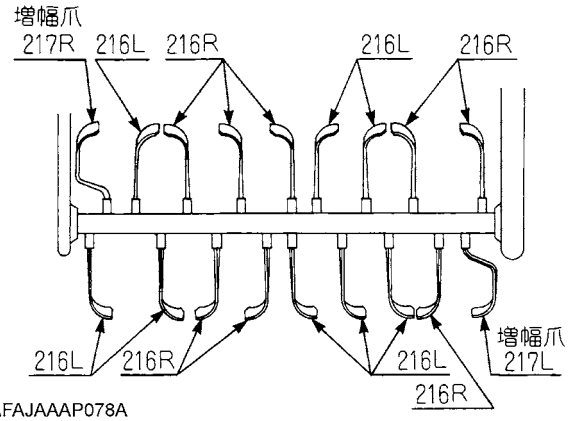
[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]



1AFAJAAAP077A

[外盛・うね立て・うねくずし作業の場合]

[平面耕の場合]



1AFAJAAAP078A

[平面耕の場合]

締付けトルク（M10）	43 ～ 50N・m

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布します。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■長期格納時の手入れ

使用後の手入れと同じく，

1. 各部に付着している泥やゴミを水で洗いおとします。
2. 各部の水分を乾いた布などでじゅうぶんに拭き取ります。
3. 摩擦しゅう動部及び，塗料のはがれたところなどは，錆びないようにグリースを塗布してください。

■長期格納時の注意

警　告

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，エンジンが冷えてからにしてください。火災のおそれがあります。
＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 駐車ブレーキを**【入】**の位置にして保管します。
2. 燃料コックを**【C】閉**位置にして燃料を止めておいてください。
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。詳しくは(**【簡単な手入れと処置】**19 ～ 21 ページを参照)
4. エアクリーナエレメントを，掃除します。詳しくは（**【簡単な手入れと処置】** 22 ページを参照)
5. 冷却水が凍結するおそれがある場合は，不凍液を入れるか，冷却水を抜きます。
6. バッテリのコードは，必ずアース (-) 側を外しておいてください。(始動時は忘れずに取付けてください)
7. バッテリは保管時も３ヶ月ごとに充電器で補充電してください。
8. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置きます。

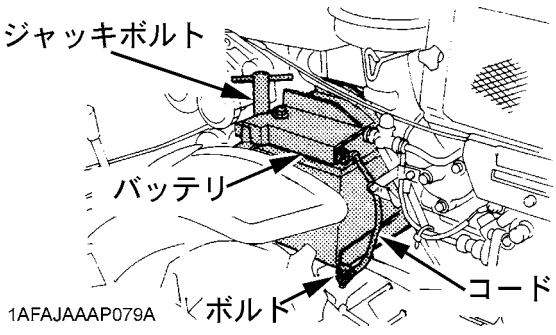
バッテリの点検

注　意

＊ バッテリの点検及び交換の際には必ずエンジンを停止し，メインスイッチを［切］位置にしてください。
＊ バッテリに火気を近づけたり，ショートさせると爆発のおそれがありますので注意してください。
＊ バッテリは充電中引火性ガスを発生し爆発の危険性がありますので，タバコをすったり火気を近づけないでください。

■補充電のしかた

1. バッテリからコードを外すときは，必ず（-）側から外してください。(+) 側から外すと工具などが接触したときにショートするおそれがあります。
2. バッテリを取付ける時には必ず (+) 側から取付けてください。
3. 充電はバッテリの（+）側を充電器の（+）側に，バッテリの（-）側を充電器の（-）側に接続して行ないます。(ご購入の充電器の取扱説明書をじゅうぶんにお読みになって行なってください)



4. バッテリの端子電圧を測定し，充電状態を確認して下表の要領で補充電してください。

端子電圧（V）	13.0 ～ 12.5	12.5 ～ 12.0
充電状態（%）	100 ～ 70	70 ～ 40
充電電流及び充電時間	2 A 4時間	2 A 8時間
端子電圧（V）	12.0 ～ 11.5	11.5 ～ 11.0
充電状態（%）	40 ～ 20	20 以下
充電電流及び充電時間	2 A 10 時間	2 A 12 時間

重　要

＊ 急速充電は行なわないでください。

5. 補充電後にバッテリの充電状態をチェックするときは，静止状態で 30 分以上経過後に端子電圧を測定してください。

バッテリ型式	ACT50A19L（パナソニック）
容量	(5HR) 18Ah

重　要

＊ バッテリの充電は必ず本機から取外して行なってください。
バッテリを取付けたままで充電すると，電装品・配線などを傷めることがあります。
＊ MF（メンテナンスフリー）バッテリの密閉栓は絶対に外さないでください。
＊ バッテリは完全密閉式です。バッテリ液の点検・補水は不要です。
＊ 補充電中にバッテリ温度が45℃をこえるときは，充電電流を下げるか補充電を一時中止してください。
＊ バッテリ端子の締付けは確実にしてください。また端子が錆びないように，端子にはグリースを塗布しておいてください。
＊ バッテリを再度取付けるときにはバッテリの (+)，(-) コードを元どおり配線し，まわりに接触しないように締付けてください。
＊ バッテリの (+) ターミナルには，ゴムブーツを必ず取付けてください。

■保守・点検

1. バッテリ上面，特に端子接続部の土やゴミは取除き，清潔な乾燥状態にしてください。
2. バッテリが，がたつかないように確実に固定してください。
3. バッテリから液漏れが無いか点検してください。

電気配線及びヒューズ

警　告

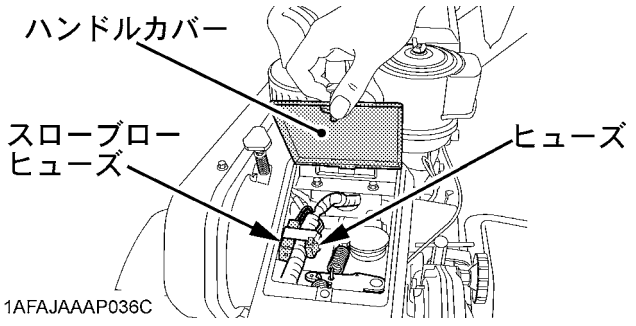
＊ ワイヤハーネス及びバッテリ（+）コードが損傷していると，火災のおそれがあるので必ず点検してください。
＊ バッテリ，配線及びマフラやエンジン周辺部にワラクズ，ゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因となるので毎日作業前に点検してください。

ワイヤハーネス，バッテリ（+）コードの被覆は各部の角に接触して損傷したり，自然劣化することがありますので，下記の項目を点検してください。

1. ワイヤハーネスの損傷及びクランプのゆるみがないこと。
2. ターミナル，ブロック（ソケット）の接続部のゆるみがないこと。
3. 各スイッチが確実に作動すること。

■ヒューズの交換

1. ハンドルカバーをノブボルトをゆるめて開きます。
2. ワイヤハーネス部のヒューズホルダ内のヒューズを交換してください。
（規定ヒューズ：10A）



重　要

＊ ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などを使用せず，購入先で点検を受けてください。

■スローブローヒューズの交換

スローブローヒューズは，配線を保護するためのものです。もし切れた場合は，切れた原因を必ず調べ，決して代用品を使用せず，純正部品を使用してください。
（スローブローヒューズ：30A）

洗車時の注意

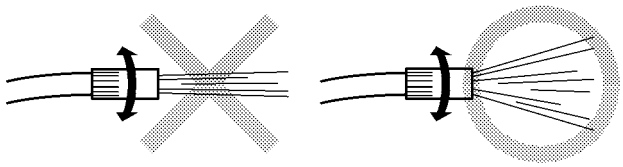
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，

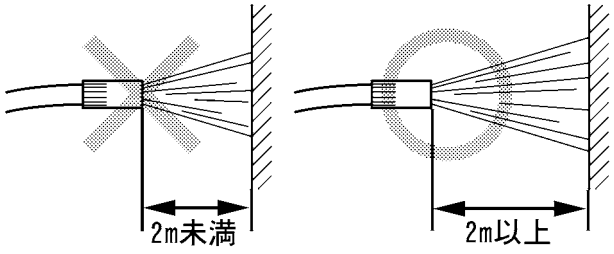
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   例）(1) シール・ラベルの剥がれ
   (2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内等への浸入による故障
   (3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類などの破損
   (4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁



1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

耕うん機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み,運搬

注　意

＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチや操向クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。

1. トラックを平坦な場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. 車速は最低速で，上りは前進**［1速］**で，下りは後進**［1速］**にします。
4. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
5. 主変速レバーは低速に入れておきます。
6. 主クラッチレバーを**［駐車ブレーキ］**位置にします。
7. 燃料コックを**［C］閉**位置にします。
8. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせます。

重　要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。

付表

主要諸元

販売型式名			KRA750-R20	KRA850-R50
機体寸法	全長	(mm)	2210	2330
	全幅	(mm)	720	720
	全高	(mm)	1250	1200
機体質量(重量)		(kg)	288	334
エンジン	型式名		EA8-E3-KB4	EA11-E3-KB4
	種類		横形水冷４サイクルディーゼル	
	総排気量	(L{cc})	0.376 (376)	0.487 (487)
	出力/回転速度	kW(PS)/rpm	5.5(7.5)/2500	6.3(8.5)/2400
	使用燃料		ディーゼル軽油	
	燃料タンク容量 (L)		8	10
	始動方式		セルスタータ式	
走行部	車輪 (タイヤ)		5.00-12	6-12
	輪距	(mm)	540 ～ 640	
	主クラッチ方式		乾式多板式	
	操向クラッチ方式		爪クラッチ式	
	ブレーキ方式		内部拡張式 (駐車ブレーキ)	
	走行変速段数	(段)	前進８, 後進４	
	走行速度 前進	(km/h)	0.98 ～ 11.7	1.05 ～ 12.6
	走行速度 後進	(km/h)	1.00 ～ 5.16	1.08 ～ 5.56
	車軸の形状、寸法	(mm)	六角, 対辺 44.5	
PTO 回転速度		(rpm)	338/512	355/538
グランドPTO回転速度		(rpm)	車軸回転速度(rpm) × 7.692	
前照灯			12V-25/25W (上下切換式)	
バッテリ			ACT50A19L (完全密閉式) (パナソニック)	
補助主クラッチレバー			アーチ式	
ロータリ	駆動方式		センタドライブ (フルカット付)	
	耕うんクラッチ形式		爪クラッチ式	
	変速段数	(段)	４ (副チェーン入替含む)	
	耕幅	(mm)	600	510・600
	爪回転径	(mm)	400	450
	マッドレスの有無		無	有

補　足

＊ 上記主要緒元の型式区分は、
R20・・・・・フルカット付
R50・・・・・フルカット＋マッドレス付
で表示しています。

※この主要諸元は, 改良のため予告なく変更することがあります。

付表

走行速度一覧表

注 意

＊ 前進７・８，後進３・４は，たいへん速いので危険です。トレーラ走行以外では使用しないでください。

		KRA750	KRA850
		km/h（m/分）	km/h（m/分）
前進１		0.98（16.3）	1.05（17.5）
前進２		1.30（21.6）	1.40（23.3）
前進３		1.53（25.4）	1.65（27.4）
前進４		2.03（33.9）	2.19（36.5）
前進５		3.00（50.0）	3.23（53.9）
前進６		3.99（66.5）	4.30（71.7）
前進７		8.80（147）	9.48（158）
前進８		11.7（195）	12.6（210）
後進１		1.00（16.7）	1.08（18.0）
後進２		1.34（22.3）	1.44（24.0）
後進３		3.88（64.6）	4.18（69.7）
後進４		5.16（86.0）	5.56（92.7）
条件	定格回転数	2500	2400
	プーリ外径	φ101-φ170	φ110-φ170
	タイヤサイズ	5.00-12 のとき	6-12 のとき
	有効径	φ548	φ562

爪軸回転速度一覧表

仕様	爪変速		爪軸回転数（rpm）
	ロータリ変速レバー	副チェーンケース	
KRA750 センタドライブ仕様	低	大（14×16）	217
	低	小（16×14）	283
	高	大（14×16）	329
	高	小（16×14）	429
KRA850 センタドライブ仕様	低	大（14×16）	228
	低	小（16×14）	297
	高	大（14×16）	345
	高	小（16×14）	451
KRA850 サイドドライブ仕様	低	大（14×16）	222
	低	小（16×14）	290
	高	大（14×16）	337
	高	小（16×14）	440

オプション部品

品名	品番	適用型式			備考	
		センタドライブ		サイドドライブ		
		KRA750	KRA850	KRA850		
平プーリ 100	64441-8413-1	○	○	○	外径 10cm	
平プーリ 75	64441-8411-1	○	○	○	外径 7.5cm	
平プーリ 90	64441-8412-1	○	○	○	外径 9 cm	
ホーンアッシ（KRA）	64081-8650-1	○	○	○	トレーラ時使用	
バックミラー	62151-6163-1	○	○	○	トレーラ時使用	
プーリボスアッシ	64441-8312-1	○	○	○	エンジンに取付け、V プーリ取付け用ボス	
ドウトリボスアッシ	64441-8313-1	○	○	○	ロータリ用 PTO（ロータリを外して使用）	
延長爪軸 750 アッシ	64141-8320-1		○		R50 ロータリ用，耕幅 75cm マッドレス仕様	
バランスウエイト 16 アッシ	62341-8310-0		○		8 kg	標準装備ウエイトと併用して使用（R50 ロータリ用）
バランスウエイト 21 アッシ	62341-8320-0		○		13kg	
フェンダアッシ	64071-8330-1	○	○	○	フェンダと取付用部品（G 仕様は標準装備）	
マッドレスアッシ	64073-8340-1	○			R10・20 ロータリ用ゴムと取付用部品	
バランスウエイト 8 アッシ	64071-8350-1	○	○	○	8 kg ＋ヒッチピン（R50 は標準装備）	
ハンドルキット（スタート）	1J130-6105-0	○			エンジン始動用（手動）	
ハンドルキット（スタート）	1J150-6705-0		○	○	エンジン始動用（手動）	

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考		品名	数量 / 台	備考
10-12 スパナ	1			PTO カバー	1	ロータリ PTO 用
14-17 スパナ	1			ボルト（M8 × 12）	3	
19-21 スパナ	1			スタータキー	2	
17 メガネレンチ	1	爪取付け用		取扱説明書	1	
ドライバ	1	＋，―差換え式		保証書	1	
ヒッチピン 3	1	トレーラ用				
スナップピン	1	トレーラ用				

付表

主な消耗部品一覧表

品名	品番	数量／台	適用型式	
			KRA750	KRA850
コグベルト（SB61）	64071-6332-0	1	○	—
トクBベルト62	63763-6311-0	2	—	○
ケーブル（シュクラッチ）	64071-4214-0	1	○	○
ケーブル（デュアル）	64071-4261-0	1	○	○
ケーブル（コウウンクラッチ）	64071-4517-0	1	○	○
ケーブル（ケンセイ）	64071-4519-0	1	○	○
ソウコウクラッチワイヤ	64441-4281-0	2	○	○
ケーブル（スロットル）	KF311-4256-0	1	○	○
ジクツキシール（車軸）	63313-8611-0	2	○	○
ヒッチピン３	62091-5313-0	1	○	○
スナップピン	05515-51600	1	○	○
ホイールチューブピン	63733-1727-0	2	○	○
バネピン	63733-1728-0	2	○	○
スローブローヒューズ（30A）	1G111-6572-0	1	○	○
ヒューズ（10A，オート）	5H050-4126-0	1	○	○
バッテリアッシ（ACT50A19L）	64081-5131-0	1	○	○
トクシュオイルシール［ストレートロータリ仕様］	63633-3134-0	2	○	○
オイルシール［フルカットロータリ仕様］	09400-3042-8	2	○	○
フレキシブルシール［フルカットロータリ仕様］	64441-3257-0	2	○	○
フローティングシール［フルカットロータリ仕様］	63313-3254-0	2	○	○
Eセットヅメ（16本）［ストレートロータリ仕様］	93181-9615-0 93181-9615-6	1	○	—
Iセットヅメ（16本）［ストレートロータリ仕様］	93181-9751-0 93181-9751-6	1	—	○
Bセットヅメ（16本）［フルカットロータリ仕様］	93181-9635-0 93181-9635-6	1	○	—
Mセットヅメ（18本）［フルカットロータリ仕様］	93181-9711-0 93181-9711-6	1	—	○
爪取付け部品１（ボルト，ナット，ザガネ各１）	63733-9620-0	適宜	○	○
カバー（左，ゴムサイド）［マッドレス仕様］	64071-3484-0	1	○	—
カバー（右，ゴムサイド）［マッドレス仕様］	64071-3486-0	1	○	—
カバー（マッド）［マッドレス仕様］	64071-3482-0	1	○	—
カバー（左，ゴムサイド）［マッドレス仕様］	64141-3484-0	1	—	○
カバー（右，ゴムサイド）［マッドレス仕様］	64141-3486-0	1	—	○
カバー（マッド）［マッドレス仕様］	64141-3482-0	1	—	○
エアクリーナエレメント	14971-1118-0	1	○	—
エアクリーナエレメント	14348-1118-3	1	—	○
エレメントアッシ（フューエルフィルタ）	15231-4356-3	1	○	○
ファンベルト（FM36.2）	15531-7253-0	1	○	—
ファンベルト（FM37.6）	14911-9701-0	1	—	○
デンキュウ（ヘッドランプ）（T19）	11164-6952-0	1	○	○

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。(10 ページの「運転のしかた」を参照)
● 燃料が流れない。	・燃料タンクを点検し，沈殿している不純物や水分を取り除く。 ・燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。
● 燃料送油系統に，空気や水が混入している。	フューエルチューブ，締付けバンドを点検し緩みや損傷があれば新品と交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。または新しい物と交換する。
● バッテリがあがり気味で，回転力が弱くなっている。	バッテリを充電する。
● ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。

■ エンジン回転が上がらない，不安定、出力が不足するとき

原　因	処　置
● 燃料の不足	燃料を補給する。
● 冷却水の不足	冷却水を補充します。(運転中およびエンジン停止直後は，ぜったいにラジエターキャップを開けないでください。熱湯が吹き出し「ヤケド」をするおそれがあります。エンジンがよく冷えてから開けてください。)
● 燃料フィルタカップに水やゴミが混入している。	燃料フィルタのエレメントを取外して洗浄します。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。

■ ハンドルのガタが多い

原　因	処　置
● ハンドル上下のガタが多い。	ハンドル締付ボルトを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2">購入先名

担当

電話番号（　　）　　－</td><td>型式名

区分

車台番号（製造番号）

エンジン型式

エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式

機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

秋田事務所：電(018)845-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所：電(022)384-5162　〒981-1221　宮城県名取市田高字原182-1
東京事務所：電(048)862-1124　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5-2-36
新潟事務所：電(025)285-1261　〒950-0992　新潟市中央区上所上1-14-15
金沢事務所：電(076)275-1121　〒924-0038　石川県白山市下柏野町956-1
名古屋事務所：電(0586)24-5111　〒491-0031　愛知県一宮市観音町1-1
大阪事務所：電(06)6470-5850　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1-1-1
岡山事務所：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市東区宍甘275
米子事務所：電(0859)39-3181　〒689-3547　鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所：電(092)606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘1-7-3
熊本事務所：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本市南区富合町廻江846-1
株式会社北海道クボタ本社：電(011)661-2491　〒063-0061　北海道札幌市西区西町北16-1-1
株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県高松市国分寺町国分字向647-3

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375　〒590-0823　大阪府堺市堺区石津北町64

KRA750・850
AT. F. 3-5. 0. K

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

LEMA
陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KF311-6651-2